

経 歴 書

氏名（ふりがな） 高木 朗義（たかぎ あきよし）

所属，職名 岐阜大学工学部 社会基盤工学科 都市デザイン講座 教授
岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター長

生年月日 昭和38年（1963年）9月5日

本籍地 愛知県名古屋市港区

現住所 岐阜県岐阜市

学 歴	昭和57年3月	愛知県立瑞陵高等学校	卒業
	昭和58年4月	岐阜大学工学部土木工学科	入学
	昭和62年3月	同上	卒業
	平成4年4月	岐阜大学大学院工学研究科博士前期課程土木工学専攻	入学
	平成5年3月	同上	修了
	平成5年4月	岐阜大学大学院工学研究科 博士後期課程生産開発システム工学専攻	入学
	平成8年3月	同上	修了

職 歴	昭和62年4月	中日本建設コンサルタント株式会社	入社
	平成11年10月	同上	退社
	平成11年11月	岐阜大学工学部講師	
	平成13年8月	岐阜大学工学部助教授	
	平成18年10月	岐阜大学工学部教授	
	平成20年4月	岐阜県地域政策・都市政策監（兼職）（～平成23年3月）	
	平成20年7月	岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター 副センター長（兼務）（～平成22年3月）	
	平成22年4月	岐阜大学工学部社会基盤工学科 平成22年度学科長（～平成23年3月）	
	平成22年4月	岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター長（兼務）	
	平成23年4月	岐阜県都市建築・県土整備政策監（兼職）（～平成24年3月）	
	平成25年4月	岐阜大学工学部社会基盤工学科 平成25年度学科長 （環境コース長，防災コース長兼務）	
		現在に至る	
	この間，	平成15年6月～平成16年5月，日本学術振興会特定国派遣研究者（オーストリア，国際応用システム分析研究所：International Institute for Applied Systems Analysis(IIASA)，客員研究員）	

学 位 平成8年3月 博士（工学） 岐阜大学
（論文題目：防災投資の便益評価手法に関する研究）

資 格 技術士（第37397号）（建設部門：河川、砂防及び海岸，水道部門：下水道）

加入学協会 土木学会，応用地域学会，日本地域学会，日本都市計画学会，日本不動産学会，
日本自然災害学会，水文・水資源学会，日本交通学会，交通工学研究会，
地域活性学会，文化経済学会＜日本＞，Regional Science Association International，
International Society for Integrated Disaster Risk Management (IDRiM Society)

各種審議会・委員会活動

- 学会関連： 土木学会東日本大震災特別委員会社会安全研究会委員，土木学会土木計画学研究委員会学術小委員会委員
- 大学関連： 京都大学防災研究所共同利用・共同研究拠点委員会委員，名古屋大学減災連携研究センター社会連携推進会議委員
- 国関連： 社会資本整備審議会専門委員（国土交通省中部地方整備局），総合評価審査委員会岐阜県地域部会委員（国土交通省中部地方整備局），地域交通コーディネーター（国土交通省中部運輸局），中部圏防災拠点ネットワーク形成検討会委員（国交省中部地方整備局），中部地域産業防災フォーラム（経産省中部経済局），地理空間情報産学官中部連携協議会委員（国土地理院中部測量部）
- 都道府県関連： 岐阜県都市計画審議会会長代理，同環境影響評価専門部会委員，岐阜県公害審査会委員，清流の国ぎふづくり森林・環境税事業評価委員会委員，清流の国ぎふづくり県民連携会議会長，岐阜県社会資本メンテナンスプラン検討委員会副委員長，同検討部会長，岐阜県道路検討委員会委員長，岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会委員，同産業振興部会長，岐阜県災害時要援護者避難支援検討委員会委員長，岐阜県地域公共交通協議会幹事，東海四県三市防災・危機管理に関する連絡会議委員，愛知県沿岸部における津波・高潮対策検討会委員，愛知県高潮浸水予測図作成分科会委員，愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査（災害対応WG）委員
- 市町村関連： 岐阜市都市計画審議会委員，岐阜市建築審査会委員，岐阜市地球温暖化対策実行計画協議会委員，各務原市都市計画審議会委員，大垣市都市計画景観審議会委員，大垣市景観アドバイザー，大垣市景観遺産審議会委員，大垣市建築審査会，新生養老まちづくり推進会議会長，関市都市計画審議会委員，郡上市防災会議委員，下呂市環境審議会委員長，多治見市浸水対策協議会委員，中津川市リニアのまちづくりビジョン策定委員会副委員長，長良川流域環境ネットワーク協議会顧問

賞 罰

- ・平成10年5月 日本不動産学会平成9年度研究奨励賞受賞
（論文題目：治水事業の便益計測法に関する研究(総合題目)）
- ・平成19年10月 土木学会環境システム委員会 環境システム優秀発表賞受賞
（論文名：流域GISを援用した総合環境評価モデルによる水環境改善施策の効果分析）
- ・平成21年12月 経済産業省 社会人基礎力育成グランプリ2010東日本予選大会奨励賞
（題目：社会人基礎力でまちづくりの現場へ踏み出し，そしてまた成長）
- ・平成22年12月 経済産業省 社会人基礎力育成グランプリ2011中部地区奨励賞
（題目：研究室の日常で培われる社会人基礎力～普段の研究室生活で得られるもの～）
- ・平成24年9月 地域仕事づくりチャレンジ大賞2012奨励賞受賞
（題目：大学×地域の重層的なチャレンジ支援プロジェクト）
- ・平成24年11月 日本経済新聞社 社会人基礎力育成グランプリ2013中部地区予選大会奨励賞
（題目：大学と地域を結ぶ・重層的なチャレンジ支援～地場産業・地域NPO団体でのインターンシップを中心に～）

専門分野：まちづくり，公共投資論，防災環境計画，インフラマネジメント

地域を支えるためのハードからソフト，つまり社会基盤施設から人的ネットワークに至る幅広い社会基盤づくり，なかでも，災害に強い地域や環境に優しい社会，地域活性化を中心に，「みんなが幸せに暮らせる社会」を目指して，社会的課題の解決方策について研究しています。特に，安全性・快適性・利便性などの外部(不)経済効果の経済的評価とそれに基づく政策デザイン，並びに，対価性の低い社会的ニーズの経済システムへの内部化，すなわち公共政策やビジネスへの落とし込み方策，地域協働の仕組みを探求しています。

原著論文

1. 治水事業の経済効果計測に関する研究, 高木朗義, 大野栄治, 森杉壽芳, 沢木真次, 土木計画学研究・論文集, No.11, 191-198, 1993.
2. Definition and Measurement of A Household's Damage Cost Caused by An Increase in Storm Surge Frequency due to Sea Level Rise, Hisayoshi MORISUGI, Eiji OHNO, Ken-ichi HOSHI, Akiyoshi TAKAGI, Yasuhide TAKAHASHI, Journal of Global Environment Engineering, Vol.1, 127-136, 1995.
3. 海面上昇の被害とその対策の便益の計測手法, 森杉壽芳, 大野栄治, 小池淳司, 高木朗義, 高橋靖英, 土木計画学研究・論文集, 12, 141-150, 1995.
4. 新しい旅行費用法を用いた公園整備事業の便益評価, 大野栄治, 田苗創基, 高木朗義, 土木計画学研究・論文集, No.13, 401-408, 1996.
5. 立地均衡モデルを用いた治水投資の便益評価手法に関する研究, 高木朗義, 森杉壽芳, 上田孝行, 西川幸雄, 佐藤尚, 土木計画学研究・論文集, No.13, 339-348, 1996.
6. 便益帰着構成表アプローチの現状と発展方向について, 上田孝行, 高木朗義, 森杉壽芳, 小池淳司, 運輸政策研究, Vol.2, No.2, 2-12, 1999.
7. 低公害車普及政策評価のための動学的応用一般均衡モデルの開発, 武藤慎一, 高木朗義, 上田孝行, 第19回交通工学研究発表会論文報告集, 145-148, 1999.
8. 不確実性下における便益定義の計量比較, 森杉壽芳, 林山泰久, 丹野智之, 高木朗義, 土木計画学研究・論文集, No.16, 403-409, 1999.
9. 水質浄化事業による環境改善便益の計測, 高木朗義, 大野栄治, 環境システム研究, Vol.27, 1-8, 1999.
10. 閉鎖性水域における水質改善政策の経済分析, 高木朗義, 上田孝行, 武藤慎一, 稲垣貴政, 橋本直也, 環境システム研究, Vol.27, 9-16, 1999.
11. The Benefit Evaluation of Urban Transportation Improvements With Computable Urban Economic Model, Akiyoshi TAKAGI, Shinichi MUTO, Taka UEDA, '99 Shanghai International Symposium on Urban Traffic, 87-99, 1999.
12. 自然要素を導入した最適経済成長モデルの開発, 武藤慎一, 上田孝行, 高木朗義, 伊藤匠, 岐阜大学工学部研究報告, No.50, 15-23, 2000.
13. 洪水による精神的被害の構造分析とその金銭的評価に関する実証的研究, 高木朗義, 大國哲, 阪井宣行, 河川技術に関する論文集, Vol.6, 225-230, 2000.
14. 社会資本整備の費用便益分析における事業効果と税収変化に関する一考察, 上田孝行, 高木朗義, 森杉壽芳, 土木学会論文集, No.653 / -48, 77-84, 2000.
15. 防災投資の簡便な便益計測法に関する研究, 高木朗義, 土木計画学研究・論文集, No. 17, 195-204, 2000.
16. 応用都市経済モデルによる立地変化を考慮した便益評価に関する研究, 武藤慎一, 上田孝行, 高木朗義, 富田貴弘, 土木計画学研究・論文集, No.17, 257-266, 2000.
17. 一般廃棄物の排出に伴う経済損失の計測, 武藤慎一, 高木朗義, 渡辺慎一, 環境システム研究論文集, Vol.28, 435-443, 2000.
18. 閉鎖性水域の水質改善政策による発生ベースの便益計測, 高木朗義, 大野栄治, 大國哲, 武藤慎一, 岐阜大学工学部研究報告, No.51, 11-18, 2001.
19. 水環境改善政策が社会経済システムに及ぼす影響の分析, 高木朗義, システム農学, Vol.17, No.1, 25-32, 2001.
20. 空間的構造変化を考慮した都市環状道路整備の便益評価, 武藤慎一, 秋山孝正, 高木朗義, 交通学研究 / 2000年研究年報 (通巻44号), 205-214, 2001.
21. 応用都市経済モデルを用いた治水対策の経済評価, 高木朗義, 武藤慎一, 太田奈智代, 河川技術論文集, Vol.7, 423-428, 2001.
22. S C G E モデルによる河川の水質改善政策評価に基づいた最適汚濁負荷削減量の算定, 高木朗義, 武藤慎一, 上村高大, 河川技術論文集, Vol.7, 435-440, 2001.

23. ファジィ推論を用いた交差点における心理的影響計測モデルの開発，武藤慎一，高木朗義，中村典生，第21回交通工学研究発表会論文報告集，273-276，2001．
24. 河川水質改善のための汚濁負荷削減策の効率的なスケジュール，高木朗義，武藤慎一，上村高大，環境システム研究論文集，Vol.29，47-55，2001．
25. 地球温暖化ガス排出抑制のための土地利用規制策の経済評価，武藤慎一，高木朗義，上田孝行，環境システム研究論文集，Vol.29，225-236，2001．
26. ファジィ効用を用いたレクリエーション施設整備の便益評価，武藤慎一，上村高大，高木朗義，日本ファジィ学会誌，No.13，Vol.6，662-671，2001．
27. 災害脆弱地区における都市整備促進施策とその効果に関する研究，上田孝行，高木朗義，土木学会論文集，No.702 / -55，39-50，2002．
28. 閉鎖性水域における水質改善政策の便益帰着分析と汚濁負荷削減量配分，高木朗義，武藤慎一，上田孝行，稲垣貴政，土木学会論文集，No.702 / -55，51-63，2002．
29. Benefit Evaluation of the Recreation Facility Construction by Using Fuzzy Utility ,Shinichi MUTO ,Akiyoshi TAKAGI ,Joint 1st International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 3rd International Symposium on Advanced Intelligent Systems , CD-ROM , No.24P2-4 , 2002 .
30. 心理的效果に着目した走行支援道路システム導入の経済評価，橋田将季，武藤慎一，秋山孝正，高木朗義，第22回交通工学研究発表会論文報告集，105-108，2002．
31. GISデータベースに基づいた水環境保全策の経済評価手法の開発，高木朗義，武藤慎一，村松穂高，環境システム研究論文集，Vol.30，161-169，2002．
32. The Benefit Evaluation of Transport Network Improvement with Computable Urban Economic Model , Shinichi MUTO, Akiyoshi TAKAGI, Taka UEDA , Selected Proceedings of the 9th World Conference on Transport Research, Elsevier Science, CD-ROM, No.6218, 2003 .
33. 心理的效果を考慮した走行支援道路システム整備の経済評価，武藤慎一，秋山孝正，高木朗義，交通学研究 / 2002年研究年報（通巻46号），191-200，2003．
34. 災害リスクマネジメントに基づいた総合治水対策の評価モデルの構築，吉田正卓，高木朗義，土木計画学研究・論文集，Vol.20，313-322，2003．
35. 歩行者の心理的負担を考慮した都市街路の歩車共存施策の検討，中村典生，武藤慎一，高木朗義，土木計画学研究・論文集，Vol.20，647-656，2003．
36. コンジョイント分析を用いた交通安全対策としてのAHS導入の経済評価，武藤慎一，橋田将季，高木朗義，秋山孝正，土木計画学研究・論文集，Vol.20，119-126，2003．
37. 応用一般均衡分析による難燃剤規制策の評価，武藤慎一，東海明宏，高木朗義，河合俊介，環境システム研究論文集，Vol.32，287-296，2004．
38. ファジィ推論を用いた都市政策評価のための立地均衡モデルの構築，大森貴仁，高木朗義，秋山孝正，土木計画学研究・論文集，Vol.21，255-264，2004．
39. 河川流域における人口減少を考慮した水環境保全計画に関する考察，河合俊介，高木朗義，土木計画学研究・論文集，Vol.21，309-316，2004．
40. 住民の視点から見た避難所配置計画の策定支援システムの構築，山田知寛，高木朗義，土木計画学研究・論文集，Vol.21，325-334，2004．
41. 節水と地域間の水融通による渇水リスク分散方法に関する基礎的分析，岡徹，高木朗義，土木計画学研究・論文集，Vol.21，375-384，2004．
42. Evaluation of Advanced Cruise-Assist Highway Systems with Fuzzy Integral in Terms of Non-market Value , Shinichi Muto ,Masashi Okushima Akiyoshi Takagi ,Takamasa Akiyama Joint 2nd International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 5th International Symposium on Advanced Intelligent Systems , CD-ROM , No.TUP-1-2 , 2004 .
43. Economic Evaluation of Advanced Cruise-Assist Highway Systems focusing on Psychological Effects, Akiyoshi TAKAGI, Shinichi MUTO, Takamasa AKIYAMA, Selected Proceedings of the 10th World Conference on Transport Research , CD-ROM , 1443 , 2005 .
44. 流域管理と地域計画の連携を考慮した総合的な洪水災害リスクマネジメント方策の経済評価システ

- ム, 高木朗義, 吉田正卓, 河川技術論文集, Vol.11, 215-220, 2005.
45. 地域住民の洪水リスク認知度に関する現状評価と向上策の検討, 高木朗義, 天王嘉乃, 河川技術論文集, Vol.12, 169-174, 2006.
 46. Long-Term Effect of Perceiving Flood Risk with Fuzzy Location Equilibrium Model, Akiyoshi TAKAGI, Shunji MIYAZAWA, Takamasa AKIYAMA, Joint 3rd International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 5th International Symposium on Advanced Intelligent Systems, 2006.
 47. Economic Evaluation of Advanced Cruise-Assist Highway Systems with Fuzzy Integral, Shinichi MUTO, Akiyoshi TAKAGI, Masashi OKUSHIMA, Takamasa AKIYAMA, Joint 3rd International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 5th International Symposium on Advanced Intelligent Systems, 2006.
 48. 地域住民の特性を考慮した避難計画の総合評価, 高木朗義, 廣住菜摘, 澤田基弘, 環境システム研究論文集, Vol.34, 277-284, 2006.
 49. 流域GISを援用した水環境改善施策の総合環境評価モデルの構築, 西川薫, 高木朗義, 篠田成郎, 永田貴子, 土木計画学研究・論文集, Vol.23, 281-289, 2006.
 50. 流域GISを援用した総合環境評価モデルによる水環境改善施策の効果分析, 高木朗義, 篠田成郎, 西川薫, 松田尚志, 片桐猛, 永田貴子, 環境システム研究論文集, Vol.34, 553-561, 2006. (**環境システム優秀発表賞受賞**)
 51. ファジィ推論とGISデータを用いた世代別立地均衡モデルの構築, 宮沢俊治, 高木朗義, 秋山孝正, 大森貴仁, 土木計画学研究・論文集, Vol.23, 211-220, 2006.
 52. 堤防の破堤確率を考慮した洪水被害額の算定方法に関する基礎的考察, 森寛典, 高木朗義, 河川技術論文集, Vol.13, 297-302, 2007.
 53. 地域住民の洪水リスク認知度と自主防災行動とのズレ, 天王嘉乃, 山崎祐輔, 高木朗義, 土木計画学研究・論文集, Vol.24, 299-306, 2007.
 54. 道路舗装アセットマネジメントのための表明選好法を用いた安全性・快適性ユーザーコストの試算と考察, 鈴木俊之, 杉浦聡志, 高木朗義, 土木計画学研究・論文集, Vol.25, 121-127, 2008.
 55. 洪水災害に対する住民の備えとその促進策の検討, 山崎祐輔, 天王嘉乃, 高木朗義, 土木計画学研究・論文集, Vol.25, 85-92, 2008.
 56. 長良川流域におけるCO2収支量に着目した総合的な森林管理システム評価モデルの構築, 杉本達哉, 高木朗義, 地球環境研究論文集, Vol.17, 103-113, 2009.
 57. CO2収支量に着目した長良川流域における総合的な森林管理システムの検討, 杉本達哉, 高木朗義, 環境システム研究論文集, Vol.37, 201-211, 2009.
 58. 画像データを用いた高速道路合流部の車線変更挙動のモデル化, 倉内文孝, 丸尾香菜子, 宇野伸宏, 高木朗義, 第29回交通工学研究発表会論文集, 77-80, 2009.
 59. 車両運行計画モデルによる実ネットワークを用いたSemi-Dynamic型DRTの導入効果の検討, 郭敏, 倉内文孝, 高木朗義, 進藤隆弘, 第8回ITSシンポジウム2009, Peer-Review Proceedings, 121-126, 2009.
 60. 安全性・快適性を考慮したLCCに基づく道路舗装アセットマネジメントに関する実証的研究, 鈴木俊之, 杉浦聡志, 高木朗義, 倉内文孝, 建設マネジメント研究論文集, Vol.16, 205-214, 2009.
 61. ユーザーコストが道路舗装の維持管理計画に与える影響に関する研究, 鈴木俊之, 杉浦聡志, 高木朗義, 倉内文孝, 土木学会舗装工学論文集, Vol.14, 239-247, 2009.
 62. Analysis of Travelers' Departure Choice Behavior and Travel Time Uncertainty Recognition, Wahaballa, A., Kurauchi, F., Takagi, A. and Othman, A., Al-Azhar Engineering Eleventh International Conference, 686-712, 2010.
 63. リスク評価に基づいた道路施設の総合維持管理手法の開発, 杉浦聡志, 金森吉信, 高木朗義, 倉内文孝, 森本博昭, 土木学会論文集F4(建設マネジメント), Vol. 67, No. 4, I_103-I_112, 2011.
 64. 地域協働型道路施設管理を目指した仕組みづくりと人づくりのあり方に関する研究, 大野沙知子, 高木朗義, 倉内文孝, 出村嘉史, 土木学会論文集F4(建設マネジメント), Vol. 67, No. 4, I_145-I_158, 2011. (**土木学会建設マネジメント委員会優秀講演賞受賞**)

65. プロサッカーチームによる地域活性化の便益評価～FC岐阜・大分トリニータを対象として～, 大石希, 浅岡朝泰, 高木朗義, 北浦康嗣, 土木学会論文集D3(土木計画学), Vol.67, No.5 (土木計画学研究・論文集第28巻), I_197-I_208, 2011.
66. CO2収支量と地域経済効果の両側面からみた森林管理施策の評価, 稲山孝典, 高木朗義, 北浦康嗣, 土木学会論文集D3(土木計画学), Vol.67, No.5(土木計画学研究・論文集第28巻), I_117-I_128, 2011.
67. 岐阜県飛騨圏域を対象とした道路斜面のリスクマネジメント～落石災害を対象として～, 高木朗義, 本城勇介, 倉内文孝, 浅野憲雄, 原隆史, 沢田和秀, 森口周二, 北浦康嗣, 八嶋厚, 土木学会論文集F4(建設マネジメント), Vol.68, No.2, 109-122, 2012.
68. A Risk Management Scheme of Rockfall Accidents in Northern Gifu Prefecture Japan, Hara, T., Honjo, Y., Takagi, A., Kurauchi, F. and Moriguchi, S., Proc. of Fifth Asian-Pacific Symposium on Structural Reliability and its Application (APSSRA), pp. 506-511, 2012.
69. Optimal Bimodal-evacuation Planning Model for Inland Flooding, Kurauchi, F., Miara, T. and Takagi, A., The 8th Annual Conference of International Institute for Infrastructure, Renewal and Reconstruction (IIIR), International Conference on Disaster Management2012, B5-2, Kumamoto, 2012.
70. Database Construction of Newspaper Article about Evacuation Behavior from Tsunami in the Great East Japan Earthquake, Ohno, S., Takagi, A., Kurauchi, F., Demura, Y. and Ohsaki, T., The 8th Annual Conference of International Institute for Infrastructure, Renewal and Reconstruction (IIIR), International Conference on Disaster Management2012, A3-1, Kumamoto, 2012.
71. Benefits of Improvement in Travel Time Reliability Resulting From Real-time Information Provision., Wahaballa, A.M., Kurauchi, F., Uno, N., Takagi, A. and Othman, A. M., paper presented at the fifth International Symposium on Transportation Network Reliability, accepted for publication, 2012.
72. A Study on Governance for Cooperative Road Facilities Management, Sachiko OHNO, Akiyoshi TAKAGI, Fumitaka KURAUCHI, Yoshifumi DEMURA, Journal of Society for Social Management Systems (Peer-reviewed), SMS12-3255,2012.
73. Risk Management of Infrastructures on Road Network in Hida Area, Shuji MORIGUCHI, Yu OTAKE, Maiko IWATA, Akiyoshi TAKAGI, Fumitaka KURAUCHI, Yusuke HONJO, Journal of Society for Social Management Systems (Peer-reviewed), SMS12-7979, 2012.

著書

1. 社会資本整備の便益評価 - 一般均衡理論によるアプローチ -, 森杉壽芳編著, 第6章防災事業の便益計測法, 高木朗義, 上田孝行, 勁草書房, 91-126, 1997 (分担執筆) .
2. これからの政策評価システム - 評価手法の理論と実際 -, 伊多波良雄編著, 第4章便益帰着構成表, 高木朗義, 上田孝行, 中央経済社, 59-82, 1999 (分担執筆) .
3. 都市計画概論第5版, 加藤晃著, 第7章都市環境計画, 第8章都市防災計画, 高木朗義, 共立出版, 210-245, 2000 (分担執筆) .
4. 環境経済評価の実務, 大野栄治編著, 第3章旅行費用法, 第4章ヘドニック価格法, 高木朗義, 大野栄治, 勁草書房, 61-82, 2000 (分担執筆) .
5. 空から見る国土の変遷, 日本写真測量学会編, 39. 鶴見川, 54. 木曾川・河川環境楽園, 58. 西枇杷島町, 80. 早明浦ダム, 高木朗義, 古今書院, 106-109, 148-149, 158-161, 224-227, 2002 (分担執筆) .
6. 新領域土木工学ハンドブック, 防災対策事業におけるプロジェクト評価, 高木朗義, 朝倉書店, 2003 (分担執筆) .
7. MPECに基づく交通・地域政策分析, MPEC研究会編, 第6章河川水質目標達成のための効率的な汚濁負荷削減スケジュール, 高木朗義, 中京大学経済学部附属経済研究所叢書第9輯, 勁草書房, 133-160, 2003 (分担執筆) .
8. 新・都市計画概論, 加藤晃・竹内伝史編著, 第9章都市環境計画, 高木朗義, 共立出版, 213-233, 2004 (分担執筆) .
9. 防災の経済分析 - リスクマネジメントの施策と評価 -, 多々納裕一・高木朗義編著, 第4章災害リ

スクマネジメント施策の経済評価,高木朗義,多々納裕一,第11章市街地再生促進施策と経済評価,上田孝行,高木朗義,第13章土地利用変化を考慮した防災の経済評価,高木朗義,第18章防災経済分析の課題と展望,横松宗太,高木朗義,勁草書房,72-87,187-203,231-246,315-333,2005(編集・分担執筆)。

10. Global Risk Governance: Concept and Practice Using the IRGC Framework, O. Renn and K. Walker (eds.), Nagara River Estuary Barrage Conflict, Norio OKADA, Hirokazu TATANO, Akiyoshi TAKAGI, Springer, 221-230, 2008 (分担執筆)。
11. 公共政策のための政策評価手法,伊多波良雄編著,第4章便益帰着構成表,第8章CVM(仮想市場評価法),第9章コンジョイント分析,高木朗義,中央経済社,87-107,181-202,203-219,2009(分担執筆)。
12. 交通安全の経済分析,鈴木崇児・秋山孝正編著,第6章交通安全対策の便益帰着構成表,中京大学経済学部付属経済研究所叢書第15輯,勁草書房,133-160,2009(分担執筆)。

その他(論説,報告,出版物等)

1. 環境の経済評価,高木朗義,第17回環境システムシンポジウム「環境システム研究の歩みとフロンティア」,土木学会環境システム委員会,33-42,2004。
2. 空間情報を利用した住民意識と地域特性を踏まえた避難のあり方,高木朗義,消防防災,通巻15号,48-59,2006。
3. 洪水リスク認知がもたらす土地利用変化に関する一考察,高木朗義,不動産研究,第48巻第2号,3-13,2006。
4. 遊びの中で学ぶ 防災サバイバル 君は4日間生き延びられるか,日本ボーイスカウト岐阜県連盟企画,高木朗義監修,DVD,2010。
5. 道路整備に対する防災の視点からの一考察,高木朗義,特集『減災・防災・復旧・予防』,交通工学45巻5号,交通工学研究会,2010。
6. 平成22年度日本自然災害学会主催「オープンフォーラム」の開催報告,孤立集落の防災を考える～自助・共助・公助の実現化に向けて,高木朗義,自然災害科学,Vol.29,No.4,517-524,2010。
7. 総説 社会基盤のメンテナンスと人材育成,高木朗義,特集『健全性診断と長寿命化』,基礎工2011.5,6-9,2011。
8. 維持管理の「担い手」の育成について,高木朗義,特集『道路橋の維持管理:今後の展望』,道路,2011-9,33-36,2011。

口頭発表

1. 簡便な幹線交通網事後評価モデル,森杉壽芳,林山泰久,高木朗義,昭和61年度研究発表会講演概要集,土木学会中部支部,332-333,(1987)。
2. 河道の段階施工計画 - 数量化理論 類による改修緊急度評価 -,江口宮雄,高木朗義,平成元年度研究発表会講演概要集,土木学会中部支部,130-131,1990。
3. 治水事業の便益評価手法 - 不確実性下の便益定義を中心に -,森杉壽芳,大野栄治,高木朗義,土木計画学研究・講演集,No.15(1),787-792,1992。
4. 海面上昇対策による世帯便益の定義について,大野栄治,森杉壽芳,星健一,高木朗義,高橋靖英,土木計画学研究・講演集,16(1),1009-1014,1993。
5. 海面上昇が及ぼす高潮頻度の増大による世帯被害費用の定義と計測,森杉壽芳,大野栄治,星健一,高木朗義,高橋靖英,第2回地球環境シンポジウム講演集,162-167,1994。
6. 海面上昇対策の便益評価手法に関する研究,森杉壽芳,大野栄治,高木朗義,星健一,高橋靖英,平成5年度研究発表会講演概要集,土木学会中部支部,269-270,1994。
7. 治水事業による土地利用変化の予測に関する研究,森杉壽芳,高木朗義,大野栄治,西川幸雄,平成5年度研究発表会講演概要集,土木学会中部支部,267-268,1994。
8. 消費者余剰分析に基づく環境用水需要量予測に関する研究,森杉壽芳,高木朗義,土木学会第49回年次学術講演会講演概要集,第4部,458-459,1994。

9. 治水事業の便益計測手法 - 不確実性下における便益計測手法の提案 - , 森杉壽芳, 高木朗義, 小池淳司, 土木計画学研究・講演集, No.17, 299-302, 1995 .
10. 不確実性下の便益計測手法に関する研究, 森杉壽芳, 小池淳司, 高木朗義, 平成6年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 427-428, 1995 .
11. 海面上昇対策としての最適堤防投資額に関する研究, 森杉壽芳, 小池淳司, 高橋靖英, 大橋勇二, 高木朗義, 平成6年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 433-434, 1995 .
12. 公園の便益計測手法に関する研究, 森杉壽芳, 高木朗義, 小池淳司, 渡辺淳, 平成6年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 435-436, 1995 .
13. 治水事業による土地利用変化の分析, 森杉壽芳, 大野栄治, 高木朗義, 西川幸雄, 平成6年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 463-464, 1995 .
14. 都市河川における水辺環境整備の便益計測法の比較, 森杉壽芳, 高木朗義, 小池淳司, 渡辺淳, 土木学会第50回年次学術講演会講演概要集, 第4部, 906-907, 1995 .
15. 海面上昇の被害とその対策の便益の計測手法, 森杉壽芳, 大野栄治, 小池淳司, 高木朗義, 高橋靖英, 土木計画学研究・講演集, 17, 1039-1042, 1995 .
16. 旅行費用法を用いた公園の親水化事業の便益評価, 大野栄治, 田苗創基, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, 18(2), 57-60, 1995 .
17. 土地利用モデルを用いた防災投資の便益評価手法に関する研究, 森杉壽芳, 上田孝行, 高木朗義, 小池淳司, 西川幸雄, 土木計画学研究・講演集, 18(2), 119-122, 1995 .
18. 防災投資の経済評価の考え方, 上田孝行, 森杉壽芳, 高木朗義, 阪神・淡路大震災に関する学術講演会論文集, 619-626, 1996 .
19. 立地均衡モデルを用いた治水投資の便益評価手法に関する研究, 高木朗義, 上田孝行, 森杉壽芳, 佐藤尚, 日本不動産学会平成8年度秋季全国大会(学術講演会)梗概集, 12, 5-8, 1996 . (**日本不動産学会平成9年度研究奨励賞受賞**)
20. 防災投資の簡便な便益計測手法に関する研究, 高木朗義, 森杉壽芳, 上田孝行, 土木計画学研究・講演集, No.19(1), 29-32, 1996 .
21. 不均衡経済状態を考慮した防災投資の便益評価, 上田孝行, 高木朗義, 森杉壽芳, 長谷川俊英, 松井直幸, 土木計画学研究・講演集, 19(1), 109-112, 1996 .
22. 不確実性を考慮した便益帰着構成柱状図, 上田孝行, 高木朗義, 森杉壽芳, 佐藤尚, 土木計画学研究・講演集, No.19(1), 359-362, 1996 .
23. 不確実性下の便益特性を理解するための便益帰着構成柱状図の提案, 高木朗義, 森杉壽芳, 上田孝行, 西川幸雄, 土木学会第51回年次学術講演会講演概要集, 第4部, 824-825, 1996 .
24. 防災投資評価のための不均衡経済モデル, 上田孝行, 高木朗義, 長谷川俊英, 森杉壽芳, 土木計画学研究委員会 阪神・淡路大震災土木計画学調査研究論文集, 31-38, 1997 .
25. 不確実性下の便益定義に関する考察, 高木朗義, 上田孝行, 長谷川俊英, 森杉壽芳, 土木計画学研究・講演集, No.20(2), 375-378, 1997 .
26. 不確実性下のプロジェクト便益に関する考察, 上田孝行, 森杉壽芳, 高木朗義, 浅野貴志, 1997年度応用地域学会(ARSC)研究発表会, 1997 .
27. 不確実性下のプロジェクト評価に関する数値実験, 浅野貴志, 上田孝行, 高木朗義, 平成9年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 543-544, 1998 .
28. 災害脆弱地区の都市整備便益について, 上田孝行, 高木朗義, 森杉壽芳, 第3回都市直下地震災害総合シンポジウム論文集, 481-484, 1998 .
29. 帰着便益構成表の二, 三の発展方向について, 上田孝行, 高木朗義, 森杉壽芳, 小池淳司, 1998年度応用地域学会(ARSC)研究発表会, 1998 .
30. 閉鎖性水域の水質改善政策の経済分析, 橋本直也, 上田孝行, 武藤慎一, 高木朗義, 平成10年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 1999 .
31. 閉鎖性水域における水質改善政策の経済分析, 高木朗義, 上田孝行, 武藤慎一, 橋本直也, 土木学会第54回年次学術講演会講演概要集, 第4部, 60-61, 1999 .
32. 閉鎖性水域における水質改善政策の経済分析, 稲垣貴政, 武藤慎一, 高木朗義, 上田孝行, 土木計

画学研究・講演集，No.22(2)，793-796，1999．

33. 便益帰着構成表を用いた伊勢湾水質浄化計画の経済評価，高木朗義，大野栄治，大國哲，1999年度応用地域学会(ARSC)研究発表会，1999．
34. 環境政策評価のための最適成長モデルの開発，武藤慎一，上田孝行，高木朗義，1999年度応用地域学会(ARSC)研究発表会，1999．
35. 交通安全対策の便益計測モデルの開発，武藤慎一，高木朗義，平成11年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，449-450，2000．
36. ファジィ理論を適用した便益評価手法の開発，上村高大，秋山孝正，武藤慎一，高木朗義，平成11年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，473-474，2000．
37. Economic Evaluation of Water Purification Policy in The Closed Water Area with Dynamic Spatial Computable General Equilibrium Model，Akiyoshi TAKAGI，Shinichi MUTO，Taka UEDA，The 6th World Congress of the Regional Science Association International，CD-ROM，148，2000．
38. The Economic Evaluation on the Environmental Control Policies with Optimal Economic Growth Theory，Shinichi MUTO，Taka UEDA，Akiyoshi TAKAGI，The 6th World Congress of the Regional Science Association International，CD-ROM，2000．
39. 閉鎖性水域における水質改善のための最適な汚濁負荷削減量配分に関する研究，高木朗義，稲垣貴政，武藤慎一，上田孝行，平成11年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，483-484，2000．
40. 遺伝的アルゴリズムを用いた最適外部不経済削減政策水準の導出，酒井祐輝，秋山孝正，武藤慎一，高木朗義，平成11年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，485-486，2000．
41. 廃棄物排出に伴う経済損失計測モデルの開発，渡辺慎一，武藤慎一，高木朗義，平成11年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，pp.487-488，2000．
42. 地球温暖化ガス削減政策評価のための応用都市経済モデルの構築，水谷伊孝，武藤慎一，高木朗義，平成11年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，pp.489-490，2000．
43. 遺伝的アルゴリズムを用いたCO₂削減のための最適政策過程の導出，酒井祐輝，武藤慎一，高木朗義，第8回地球環境シンポジウム講演論文集，211-216，2000．
44. 社会経済システムへの影響を考慮した閉鎖性水域における水質汚濁負荷削減量の最適配分，高木朗義，武藤慎一，稲垣貴政，土木学会第55回年次学術講演会概要集，CD-ROM，2000．
45. 自然災害による資本損傷を考慮した立地均衡モデルの開発，水谷伊孝，高木朗義，武藤慎一，土木学会第55回年次学術講演会概要集，CD-ROM，2000．
46. レクリエーション施設整備評価へのファジィ効用関数の適用，武藤慎一，高木朗義，秋山孝正，上村高大，土木学会第55回年次学術講演会概要集，CD-ROM，2000．
47. ファジィ効用を用いたレクリエーション施設整備の便益評価，武藤慎一，高木朗義，上村高大，環境システム研究論文集，28，2000．
48. 空間的構造変化を考慮した都市環状道路整備の経済的評価，武藤慎一，秋山孝正，高木朗義，2000年第59回研究報告会資料，164-171，日本交通学会，2000．
49. 時間概念を考慮した水質改善政策の便益評価，上村高大，高木朗義，武藤慎一，土木計画学研究・講演集，No.23(1)，215-218，2000．
50. 自動車外部不経済削減政策の動学的便益帰着分析，酒井祐輝，武藤慎一，高木朗義，土木計画学研究・講演集，No.23(1)，247-250，2000．
51. 自然災害による資本損傷を考慮した立地均衡モデルの開発，水谷伊孝，高木朗義，武藤慎一，土木計画学研究・講演集，No.23(2)，161-164，2000．
52. 道路交通安全対策の便益計測モデルの開発，高木朗義，武藤慎一，土木計画学研究・講演集，No.23(2)，415-418，2000．
53. CVMによる都市街路の交通安全性評価モデルの開発，武藤慎一，高木朗義，中村典生，土木計画学研究・講演集，No.23(2)，419-422，2000．
54. 都市構造変化を考慮した地球温暖化ガス排出抑制策の評価，武藤慎一，高木朗義，上田孝行，日本地域学会第37回（2000年）年次大会学術発表論文集，120-125，2000．
55. 時間概念を考慮した水質改善政策の便益評価，高木朗義，武藤慎一，上村高大，応用地域学会第14

回研究発表大会，2000．

56. 動学的一般均衡モデルによる最適環境政策過程の検討，武藤慎一，高木朗義，応用地域学会第14回研究発表大会，2000．
57. 道路交通事故の社会的損失の計測，山賀哲郎，高木朗義，武藤慎一，平成12年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，383-384，2001．
58. 自動車交通安全対策による精神的被害抑制効果に関する研究，佐井川伯，高木朗義，武藤慎一，平成12年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，385-386，2001．
59. 心理的要因を考慮した都市街路の交通安全性評価モデルの開発，中村典生，武藤慎一，高木朗義，平成12年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，387-388，2001．
60. 湯水による社会経済システムへの影響分析，濱平涼子，高木朗義，武藤慎一，平成12年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，425-426，2001．
61. 洪水流出の地域依存性を考慮した土地利用予測システムの開発，太田奈智代，高木朗義，武藤慎一，平成12年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，427-428，2001．
62. 産業構造の差異を考慮した二都市経済モデルの開発，大堀功尊，武藤慎一，高木朗義，平成12年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，429-430，2001．
63. Evaluation of Flood Mitigation Countermeasures Considering the Interdependence Between Flood Risk and Land Use, Akiyoshi TAKAGI, Taka UEDA, First Annual IIASA-DPRI Meeting, <http://www.iiasa.ac.at/Research/RMS/dpri2001/papers.html>, 2001．
64. Benefit Incidence Analysis of Traffic Safety Policy, Akiyoshi TAKAGI, Taka UEDA, Shinichi MUTO, Hisa MORISUGI, Proceedings of the 9th World Conference on Transport Research, CD-ROM, 3210, 2001．
65. 地域間の公平性を考慮した湯水調整ルールを検討，高木朗義，武藤慎一，濱平涼子，土木学会第56回年次学術講演会概要集，CD-ROM，2001．
66. 交通事故に伴う社会的費用の帰着構造分析，武藤慎一，高木朗義，山賀哲郎，土木学会第56回年次学術講演会概要集，CD-ROM，2001．
67. 地域間リスク配分を考慮した湯水調整ルールの実証的分析，高木朗義，武藤慎一，濱平涼子，応用地域学会第15回研究発表大会，2001．
68. 動的最適化問題による道路整備と環境対策への投資配分の検討，武藤慎一，高木朗義，応用地域学会第15回研究発表大会，2001．
69. 地域間リスク配分を考慮した湯水調整ルールの実証的分析，高木朗義，武藤慎一，濱平涼子，土木計画学研究・講演集，Vol.24，CD-ROM，2001．
70. 都市環状道路整備施策の便益帰着分析，武藤慎一，高木朗義，土木計画学研究・講演集，Vol.24，CD-ROM，2001．
71. 心理的影響に着目した都市街路の交通安全性評価，中村典生，武藤慎一，高木朗義，土木計画学研究・講演集，Vol.24，CD-ROM，2001．
72. 道路投資と環境投資を内包した動的な一般均衡モデルの構築，酒井祐輝，武藤慎一，高木朗義，土木計画学研究・講演集，Vol.24，CD-ROM，2001．
73. 社会資本整備の投資タイミング，高木朗義，上田孝行，多々納裕一，横松宗太，榊原弘之，土木計画学研究・講演集，Vol.24，スペシャルセッション，CD-ROM，2001．
74. 都市高速道路のマクロ的長期需要予測モデルの開発，酒井大介，武藤慎一，秋山孝正，高木朗義，平成13年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，357-358，2002．
75. GISデータベースに基づいた流域環境の経済評価，村松穂高，高木朗義，武藤慎一，篠田成郎，野田幸嗣，平成13年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，429-430，2002．
76. 費用負担問題を考慮した市街地再生促進施策に関する一考察，平光紀明，高木朗義，武藤慎一，平成13年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，443-444，2002．
77. 住み替えを考慮した災害リスクマネジメントに関する考察，水谷伊孝，高木朗義，平成13年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，445-446，2002．
78. 心理的效果に着目した走行支援道路システム整備の経済評価，橋田将季，武藤慎一，秋山孝正，高木朗義，平成13年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，449-450，2002．

79. 災害リスクマネジメントに基づいた総合治水対策評価モデルの構築, 吉田正卓, 高木朗義, 武藤慎一, 平成13年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 453-454, 2002.
80. 動学的一般均衡モデルによる地球温暖化ガス排出抑制策評価, 武藤慎一, 高木朗義, 平成13年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 461-462, 2002.
81. 地域間高規格道路整備に伴う波及的影響の計測, 和田進助, 武藤慎一, 高木朗義, 平成13年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 473-474, 2002.
82. 地域間のリスク配分に着目した湧水調整ルールの試案, 岡徹, 高木朗義, 武藤慎一, 平成13年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 475-476, 2002.
83. A Study on Integrated Disaster Risk Management with Considering Location Choice Behavior, Akiyoshi TAKAGI, Itaka MIZUTANI, Second Annual IIASA-DPRI Meeting, <http://www.iiasa.ac.at/Research/RMS/dpri2002/proceedings.html>, 2002.
84. 費用負担問題を考慮した市街地再生促進施策に関する検討, 高木朗義, 平光紀明, 土木計画学研究・講演集, Vol.25, CD-ROM, 2002.
85. MPECに基づく水質汚濁負荷削減策の効率的スケジュールの検討, 高木朗義, 武藤慎一, 上村高大, 土木計画学研究・講演集, Vol.25, CD-ROM, 2002.
86. 域外取引を考慮したCGEモデルによる地域間高規格道路整備評価, 武藤慎一, 高木朗義, 和田進助, 土木学会第57回年次学術講演会概要集, CD-ROM, 2002.
87. 節水と地域間の水取引による湧水リスク分散方法の検討, 岡徹, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.26, CD-ROM, 2002.
88. 災害リスクマネジメントに基づいた総合治水対策の評価モデルの構築, 吉田正卓, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.26, CD-ROM, 2002.
89. 非線形効用関数を用いたAHS整備のコンジョイント分析, 橋田将季, 武藤慎一, 秋山孝正, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.26, CD-ROM, 2002.
90. 歩行者の心理的負担を考慮した都市街路の交通安全対策の検討, 中村典生, 武藤慎一, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.26, CD-ROM, 2002.
91. 心理的効果を考慮した走行支援道路システム整備の経済評価, 武藤慎一, 秋山孝正, 高木朗義, 2002年第61回研究報告会資料, 日本交通学会, 2002.
92. 住み替え行動を考慮した災害リスクマネジメントに関する一考察, 高木朗義, 水谷伊孝, 応用地域学会第16回研究発表大会, 2002.
93. 最適経済成長理論による道路整備と環境保全への効率的投資配分の検討, 武藤慎一, 高木朗義, 応用地域学会第16回研究発表大会, 2002.
94. 時間遅れを考慮した水環境保全計画立案手法の構築, 河合俊介, 高木朗義, 岡徹, 平成14年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 459-460, 2003.
95. 不均衡経済モデルを用いた自然災害による波及被害の計測, 吉田正卓, 高木朗義, 長谷川俊英, 平成14年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 477-478, 2003.
96. GISの利用を前提とした避難所最適配置計画の策定支援ツール, 山田知寛, 高木朗義, 平成14年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 479-480, 2003.
97. ファジィ推論を用いた立地均衡モデルの構築, 大森貴仁, 高木朗義, 平成14年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 491-492, 2003.
98. 岐阜市における中心部と郊外の比較から見た中心市街地活性化に関する考察, 伊藤宏匡, 高木朗義, 平成14年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 493-494, 2003.
99. 節水と水融通の行使の違いによる湧水リスク分散方法の比較, 岡徹, 高木朗義, 平成14年度研究発表会講演概要集, 土木学会中部支部, 507-508, 2003.
100. ファジィ推論を用いた立地均衡モデルの構築, 大森貴仁, 高木朗義, 秋山孝正, 土木計画学研究・講演集, Vol.27, CD-ROM, 2003.
101. ファジィ積分型を用いたAHS整備の心理的効果の計測, 橋田将季, 武藤慎一, 秋山孝正, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.27, CD-ROM, 2003.
102. ファジィ推論を用いた土地利用予測に関する研究, 大森貴仁, 高木朗義, 秋山孝正, 土木計画学研

- 究・講演集，Vol.28，CD-ROM，2003．
- 103.長期的な水環境保全計画の立案手法に関する研究，河合俊介，高木朗義，土木計画学研究・講演集，Vol.28，CD-ROM，2003．
 - 104.住民の視点から見た避難所最適配置計画の策定支援システム，山田知寛，高木朗義，土木計画学研究・講演集，Vol.28，CD-ROM，2003．
 - 105.応用一般均衡分析による化学物質規制策の評価，河合俊介，武藤慎一，東海明宏，高木朗義，土木学会第59回年次学術講演会概要集，CD-ROM，2004．
 - 106.高齢化社会を考慮した土地利用誘導策の検討，高木朗義，大森貴仁，秋山孝正，2004年度応用地域学会(ARSC)研究発表会，2004．
 - 107.応用一般均衡分析を用いた環境微量物質規制策の経済評価，河合俊介，武藤慎一，高木朗義，東海明宏，2004年度応用地域学会(ARSC)研究発表会，2004．
 108. GISを援用した流域環境改善施策評価のためのSCGEモデルの構築，西川薫，高木朗義，平成16年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，309-310，2005．
 - 109.物質間の代替性を考慮した微量化学物質規制策の経済評価，河合俊介，高木朗義，武藤慎一，東海明宏，平成16年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，311-312，2005．**(平成16年度土木学会中部支部優秀研究発表賞受賞)**
 - 110.利用者及び住民の視点に立った道路事業評価に関する研究，平野康司，高木朗義，平成16年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，349-350，2005．
 - 111.高齢化社会を見据えたソフト的な居住地移転誘導策，大森貴仁，高木朗義，秋山孝正，平成16年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，365-366，2005．
 - 112.地域住民のための洪水時緊急避難情報提供システムの構築，山田知寛，高木朗義，平成16年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，411-412，2005．
 - 113.洪水リスクの情報公開がもたらす長期的効果に関するモデル分析，奥村和史，高木朗義，平成16年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，413-414，2005．
 - 114.環境教育効果を考慮した水環境保全計画に関する基礎的研究，高橋里美，高木朗義，平成16年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，591-592，2005．
 - 115.Assessment of Water Environment Improvement Projects with Computable General Equilibrium Model using Geographic Information Systems, Akiyoshi TAKAGI, Kaoru NISHIKAWA, Seirou SHINODA, Shinichi MUTO, Proceedings of the 19th Pacific Regional Science Conference, CD-ROM, 2005．
 - 116.ファジィ推論を用いた土地利用モデルの一事例：高齢者移転促進策の評価，高木朗義，秋山孝正，大森貴仁，土木計画学研究・講演集，Vol.31，CD-ROM，2005．
 - 117.A Flood Evacuation Information System for Citizens and Local Government -Evacuation Planning based on Social Welfare Maximization-, Akiyoshi TAKAGI, Tomohiro YAMADA, Fifth Annual IIASA-DPRI Forum, <http://www.iiasa.ac.at/Research/RMS/dpri2005/proceedings.html>, 2005.
 - 118.地域住民のための洪水時避難情報システムの構築と避難計画見直し案の検討，高木朗義，山田知寛，土木学会第60回年次学術講演会概要集，CD-ROM，2005．
 - 119.流域GISを援用した水環境改善施策の総合環境評価モデルの開発，西川薫，高木朗義，篠田成郎，土木計画学研究・講演集，Vol.32，CD-ROM，2005．
 - 120.ファジィ推論を用いた世代別立地均衡モデルの開発，宮澤俊治，高木朗義，秋山孝正，大森貴仁，土木計画学研究・講演集，Vol.32，CD-ROM，2005．
 - 121.自主防災行動を促す洪水情報とその活用方法に関する研究，天王嘉乃，高木朗義，平成17年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，367-368，2006．
 - 122.住民と地域の特性を考慮した避難計画の操業評価指標の提案とその適用，廣住菜摘，高木朗義，平成17年度研究発表会講演概要集，土木学会中部支部，375-376，2006．
 - 123.地域住民の洪水リスク認知に対する評価と自主防災行動とのズレ，高木朗義，天王嘉乃，土木計画学研究・講演集，Vol.33，CD-ROM，2006．
 - 124.リスクコミュニケーションのための避難計画総合評価指標の提案，澤田基弘，高木朗義，廣住菜摘，土木計画学研究・講演集，Vol.33，CD-ROM，2006．

125. A Comparison Analysis between Flood Risk Awareness and Flood Risk Reduction (focusing on land use change) with Fuzzy Location Equilibrium Model, Akiyoshi TAKAGI, Shunji MIYAZAWA, The Second Japan-China Joint Seminar on Sustainable Management of Cities and Regions under Disaster and Environmental Risks, 2006.
126. Gap between preparedness and awareness for flood disaster risk, Akiyoshi TAKAGI, Yoshino AMAO, Sixth Annual IIASA-DPRI Forum on Integrated Disaster Risk Management, <http://www.iiasa.ac.at/Research/RAV/conf/IDRiM06/index.html>, 2006.
127. 堤防の破堤確率を考慮した洪水被害額の算定方法に関する基礎的研究, 森寛典, 高木朗義, 平成18年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, 327-328, 2007.
128. 流域GISを援用した総合環境評価モデルに基づく水環境改善施策の検討, 西川薫, 高木朗義, 松田尚志, 篠田成郎, 平成18年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, 329-330, 2007.
129. 林業の生産構造からみた長良川流域における森林管理システムの現状評価, 杉本達哉, 高木朗義, 西川薫, 平成18年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, 331-332, 2007.
130. 洪水リスクに対する事前策として地域住民が行う自主防災行動の促進策, 山崎祐輔, 高木朗義, 天王嘉乃, 平成18年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, 373-374, 2007.
131. ユーザーコストを考慮した舗装アセットマネジメントに関する基礎的研究, 杉浦聡志, 高木朗義, 鈴木俊之, 吉田拓司, 平成18年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, 469-470, 2007.
132. 洪水リスクに対する合理的な立地分布への誘導策の検討 - ファジィ推論とGISデータを用いた立地均衡モデルによるアプローチ - , 宮澤俊治, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.35, CD-ROM, 2007.
133. 洪水災害に対する住民の備えとその促進策の検討, 山崎祐輔, 天王嘉乃, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.35, CD-ROM, 2007.
134. 三条市を対象としたH16.7水害の経済的波及被害の計量, 山岸陽介, 飯野光則, 大森嘉郎, 土屋哲, 高木朗義, 清水敬生, 土木計画学研究・講演集, Vol.35, CD-ROM, 2007.
135. A Promotion of Self-Preparedness and Awareness for Flood Disaster on Community, Akiyoshi TAKAGI, Natsumi HIROZUMI, Yusuke YAMAZAKI, Motohiro SAWADA and Yoshino AMAO, Seventh Annual IIASA-DPRI Forum on Integrated Disaster Risk Management, 2007.
136. A Community Based Flood Disaster Risk Governance for Improvement in Preparedness and Awareness, Akiyoshi TAKAGI, The International Conference on Vitae Systems -New Paradigm for Systems Science: Survivability, Vitality and Conviviality in Society, 2007
137. 道路舗装アセットマネジメントのための表明選好法を用いた安全性・快適性ユーザーコストの試算と考察, 鈴木俊之, 杉浦聡志, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.36, CD-ROM, 2007.
138. 地域住民の視点から見た斜面对策の優先度評価に関する基礎的研究, 鈴木俊之, 吉田拓司, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.36, CD-ROM, 2007.
139. 堤防の破堤確率を考慮した洪水被害の経済評価手法に関する基礎的研究, 森寛典, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.36, CD-ROM, 2007.
140. 地球温暖化抑止のための長良川流域における森林管理の評価モデル, 杉本達哉, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.36, CD-ROM, 2007.
141. 成熟社会における地方都市計画のための立地均衡モデルの構築, 福永渉, 高木朗義, 宮澤俊治, 土木計画学研究・講演集, Vol.36, CD-ROM, 2007.
142. 道路舗装アセットマネジメントのためのコンジョイント分析を用いたユーザーコストの試算とLCCの影響分析, 鈴木俊之, 杉浦聡志, 高木朗義, 平成19年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, CD-ROM, 2008.
143. ユーザーコストを考慮したLCCに基づく橋梁アセットマネジメントの基礎的研究, 柘植亮輔, 鈴木俊之, 高木朗義, 平成19年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, CD-ROM, 2008.
144. 道路利用者の視点を考慮した斜面の0次アセットマネジメントに関する基礎的研究, 小坂宏彰, 鈴木俊之, 高木朗義, 平成19年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, CD-ROM, 2008.
145. 自助・共助・公助を踏まえた避難情報システムの提案とその有効性の検討, 廣住菜摘, 高木朗義,

- 澤田基弘，平成19年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2008．
- 146.様々なリスク存在下における家庭および地域のリスクマネジメントに関する研究，藪島綾，山崎祐輔，高木朗義，平成19年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2008．
- 147.集団における個人の意識を考慮した自主的CO2削減行動に関する基礎的研究，佐藤慶和，高木朗義，平成19年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2008．
- 148.防災活動と災害復興に見るソーシャルキャピタルの役割：防災活動と災害復興を考えるための視点の整理，高木朗義，土木計画学シンポジウム「土木計画におけるソーシャルキャピタル-リスクマネジメントの視点から-」，土木学会土木計画学研究委員会，2008．
- 149.自助・共助・公助を踏まえた避難計画策定のための避難情報システムの構築，澤田基弘，高木朗義，廣住菜摘，土木計画学研究・講演集，Vol.37，CD-ROM，2008．
- 150.他者の行動による影響を考慮した自主的CO2削減行動に関する基礎的分析，佐藤慶和，高木朗義，土木計画学研究・講演集，Vol.37，CD-ROM，2008．
- 151.日中セミナー
- 152.便益帰着構成表を用いたプロサッカーチームがホームタウンにもたらす効果分析，高木朗義，浅岡朝泰，福永渉応用地域学会2008年研究発表大会，2008．
- 153.リスクコミュニケーションのためのコミュニティ防災支援システムの開発，上田健人，高木朗義，倉内文孝，廣住菜摘，澤田基弘，平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2009．
- 154.中山間地域における都市との交流によるまちづくりの影響分析，黒川貴啓，高木朗義，倉内文孝，平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2009．
- 155.地球温暖化抑止のための長良川流域におけるCO2収支量に着目した森林管理計画の評価，杉本達哉，高木朗義，倉内文孝，平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2009．
- 156.安全性・快適性を考慮したLCCに基づく道路舗装アセットマネジメントの方法論，杉浦聡志，鈴木俊之，高木朗義，倉内文孝，平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2009．
(平成20年度土木学会中部支部優秀研究発表賞受賞)
- 157.プロサッカーチームによるホームタウンへの便益帰着構成分析，福永渉，高木朗義，浅岡朝泰，倉内文孝，平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2009．
- 158.災害リスクを含む社会的費用を考慮したLCCに基づく橋梁維持管理戦略，松田祥吾，鈴木俊之，高木朗義，倉内文孝，平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2009．
- 159.流域治水計画における上下流の関係を考慮した堤防整備の優先度順位決定方法，森寛典，高木朗義，倉内文孝，平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2009．
- 160.住民アンケート調査に基づく地域防災力とソーシャルキャピタルの関係分析，山崎祐輔，高木朗義，倉内文孝，平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2009．
- 161.災害復旧・復興期の交通規制を考慮した道路交通ネットワーク防災性能評価手法の開発，田中秀忠，倉内文孝，高木朗義，平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2009．
- 162.利用者の交通機関選択を考慮したドア・トゥー・ドア型DRTの配車モデルの開発，郭敏，倉内文孝，高木朗義，SUMALEE, Agachai，平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2009．
- 163.common linesの概念を導入したマルチクラス・交通機関選択統合型利用者均衡配分モデルの開発，嶋田真尚，倉内文孝，高木朗義，平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2009．
- 164.京阪神都市圏における観光地での滞在時間に関する研究，前田尚也，倉内文孝，高木朗義，平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2009．
- 165.高速道路合流部における車線変更挙動の分析とモデル化，丸尾香菜子，倉内文孝，宇野伸宏，高木朗義，平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2009．
- 166.マルチエージェントシミュレータを用いたデマンド応答型交通システムの導入効果分析，米山真未，倉内文孝，高木朗義，平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2009．
- 167.流域治水計画における上下流の関係を考慮した堤防整備の優先順位決定方法，森寛典，高木朗義，

- 土木計画学研究・講演集，Vol.39，CD-ROM，2009．
168. リスクコミュニケーションのためのコミュニティ防災支援システムの開発，上田健人，高木朗義，倉内文孝，澤田基弘，土木計画学研究・講演集，Vol.39，CD-ROM，2009．
169. 災害発生後の交通規制を考慮した道路ネットワーク防災性能評価，倉内文孝，田中秀忠，高木朗義，Sumalee Agachai，土木計画学研究・講演集，Vol.39，CD-ROM，2009．
170. A Comparative Analysis of Community Disaster Mitigation Power with Social Capital, Akiyoshi TAKAGI, Fumitaka KURAUCHI, Yusuke YAMAZAKI, The 9th IIASA-DPRI Conference on Integrated Disaster Risk Management, <http://nexus-idrim.net/idrim09/Kyoto/index.html>, 2009.
171. 岐阜県における都市計画道路見直し案とその評価，牛山健太郎，高木朗義，倉内文孝，岩丸圭一，土木計画学研究・講演集，Vol.40，CD-ROM，2009．
172. 中山間地域を対象とした交流・連携による地域づくりに関するゲーム論的分析 黒川貴啓 高木朗義，倉内文孝，北浦康嗣，土木計画学研究・講演集，Vol.40，CD-ROM，2009．
173. 社会資本整備の経済効果に関する一考察，北浦康嗣，高木朗義，倉内文孝，土木計画学研究・講演集，Vol.40，CD-ROM，2009．
174. デマンド応答型交通システムの特性に関するシミュレーション分析，倉内文孝，米山真未，高木朗義，原尾彰，土木計画学研究・講演集，Vol.40，CD-ROM，2009．
175. common linesの概念を導入したマルチモード交通配分モデルの構築，嶋田真尚，倉内文孝，高木朗義，土木計画学研究・講演集，Vol.40，CD-ROM，2009．
176. 流域治水計画における上下流の関係を考慮した堤防整備の優先順位決定方法，高木朗義，森寛典，応用地域学会（ARSC）第23回研究発表大会，2009．
177. 都市計画道路が持つ多様な機能とその評価，牛山健太郎，高木朗義，倉内文孝，出村嘉史，平成21年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2010．
178. ゲーム理論を用いた地球温暖化抑制行動分析とその促進策，佐藤慶和，高木朗義，北浦康嗣，倉内文孝，平成21年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2010．
179. 道路途絶による社会経済損失を考慮した斜面災害リスクの評価モデル，小坂宏彰，高木朗義，倉内文孝，北浦康嗣，平成21年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2010．
180. 要援護者避難計画策定のためのコミュニティ減災支援システムの開発，佐々木康二，高木朗義，倉内文孝，平成21年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2010．
181. 便益帰着構成表を用いたプロサッカーチームによる地域活性化の社会経済評価 大石希 高木朗義，北浦康嗣，浅岡朝泰，平成21年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2010．
182. 地球温暖化抑止のための森林管理システムに対する総合評価モデルの開発，稲山孝典，高木朗義，北浦康嗣，平成21年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2010．
183. ユーザーコストを考慮した道路舗装・橋梁統合型アセットマネジメント手法の開発，福島彩，倉内文孝，高木朗義，平成21年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集，CD-ROM，2010．
184. REVIEW OF BENEFIT EVALUATION MODELS FOR TRAVEL TIME RELIABILITY IMPROVEMENTS, Amr Mohamed Wahaballa, Fumitaka Kurauchi, Akiyoshi Takagi, Ayman Mahmoud Othman, 土木計画学研究・講演集，Vol.41，CD-ROM，2010．
185. 道路途絶による社会経済損失を考慮した斜面災害リスクの評価モデル，小坂宏彰，高木朗義，倉内文孝，北浦康嗣，土木計画学研究・講演集，Vol.41，CD-ROM，2010．
186. リスク評価に基づくアセットマネジメントによる社会基盤の戦略的整備意思決定に関する研究，北浦康嗣，八嶋厚，本城勇介，高木朗義，倉内文孝，土木計画学研究・講演集，Vol.41，CD-ROM，2010．
187. 災害時要援護者避難計画策定のためのコミュニティ減災支援システムの開発，佐々木康二，高木朗義，倉内文孝，出村嘉史，北浦康嗣，土木計画学研究・講演集，Vol.41，CD-ROM，2010．
188. 便益帰着構成表を用いたプロサッカーチームの社会経済評価，浅岡朝泰，高木朗義，北浦康嗣，大石希，文化経済学会<日本>2010年度研究大会（神戸大会）予稿集，文化経済学会<日本>，2010．
189. 岐阜県「まちづくり支援チーム」の活動とその効果，高木朗義，桐山敏通，地域活性学会第2回研究大会（2010年度・小樽）論文集，地域活性学会，pp.231-234，2010．（アブスト審査付き）

190. Support System of Community based Disaster Mitigation for Evacuating Vulnerable People and Risk Communications, Akiyoshi TAKAGI, Kento UEDA and Fumitaka KURAUCHI, 1st annual Conference of the International Society for Integrated Disaster Risk Management -IDRiM 2010, 2010.
191. リスクコミュニケーションのためのコミュニティ減災支援システム, 高木朗義, 上田健人, 倉内文孝, 第5回防災計画研究発表会発表概要集, p.21, 2010.
192. 社会基盤の総合的リスクマネジメント(その1): 全体概要, 原隆史, 本城勇介, 高木朗義, 八嶋厚, 宗宮裕雄, 第65回土木学会年次講演会論文概要集, CD-ROM, 土木学会, 2010.
193. 社会基盤の総合的リスクマネジメント(その3): 飛騨圏域を対象とした落石による経済損失評価, 北浦康嗣, 高木朗義, 倉内文孝, 小板宏彰, 第65回年次学術講演会講演概要, VI-405, CD-ROM, 2010.
194. 社会基盤の総合的リスクマネジメント(その4): 飛騨圏域を対象とした落石のリスク評価, 森口周二, 本城勇介, 高木朗義, 八嶋厚, 第65回土木学会年次講演会論文概要集, CD-ROM, 土木学会, 2010.
195. Comprehensive risk management of infrastructure -General Outline-, T. Hara, Y. Honjo, A. Takagi, A. Yashima and H. Somiya, 第29回日本自然災害学会学術講演会, pp.99-100, 日本自然学会, 2010.
196. Comprehensive risk management of infrastructure in Gifu prefecture - Economic loss evaluation of rock fall probability in the slopes-, Kitaura, K., Takagi, A., Kurauchi, F. and Koita, H.:第29回日本自然災害学会学術講演会, pp.103-104, 日本自然災害学会, 2010.
197. Comprehensive risk management of infrastructure -Risk assessment of rock fall in the slopes-, S. Moriguchi, Y. Honjo, A. Takagi and A. Yashima, 第29回日本自然災害学会学術講演会 pp.105-106, 日本自然学会, 2010.
198. 地球温暖化抑止のための森林管理システムに対する総合評価モデルの開発, 稲山孝典, 高木朗義, 北浦康嗣, 土木計画学研究・講演集, Vol. 42, CD-ROM, 2010.
199. 便益帰着構成表を用いたプロサッカーチームによる地域活性化の社会経済評価, 大石希, 浅岡朝泰, 高木朗義, 北浦康嗣, 土木計画学研究・講演集, Vol. 42, CD-ROM, 2010.
200. 進化ゲーム理論を用いた行動変容モデルに基づくCO2排出削減促進策の評価, 高木朗義, 佐藤慶和, 倉内文孝, 北浦康嗣, 第24回応用地域学会(ARSC)研究発表大会, 2010.
201. Environmental Education and Economic Growth, 北浦康嗣, 高木朗義, 佐藤佑樹, 第24回応用地域学会(ARSC)研究発表大会, 2010.
202. 中山間地域を対象とした交流による地域づくりに関する進化ゲーム論的分析, 黒川貴啓, 高木朗義, 北浦康嗣, 倉内文孝, 出村嘉史, 平成22年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, CD-ROM, 2011.
203. 持続的なまちづくりを支える人々のネットワーク 岐阜県恵那市岩村町を事例として, 石田大貴, 出村嘉史, 高木朗義, 倉内文孝, 平成22年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, CD-ROM, 2011.
204. 地域協働型インフラ管理のあり方に関する事例分析, 大野沙知子, 高木朗義, 倉内文孝, 出村嘉史, 北浦康嗣, 平成22年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, CD-ROM, 2011.
205. コミュニケーションによる埋没便益への気付きがもたらす減災効果, 下岡雄一, 高木朗義, 北浦康嗣, 平成22年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, CD-ROM, 2011.
206. ポートフォリオ理論に基づく道路斜面災害対策の優先度評価手法の開発, 丸山竜平, 高木朗義, 倉内文孝, 北浦康嗣, 平成22年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, CD-ROM, 2011.
207. 都市計画道路における多機能性評価手法に関する研究, 明ヶ谷隆, 高木朗義, 倉内文孝, 出村嘉史, 平成22年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, CD-ROM, 2011.
208. 落石災害対策計画へのポートフォリオ理論の適用に関する研究, 丸山竜平, 高木朗義, 倉内文孝, 北浦康嗣, 土木計画学研究・講演集, Vol. 43, CD-ROM, 2011.
209. コミュニケーションを介した自助・共助意識向上のための埋没便益への気付き, 下岡雄一, 高木朗義, 北浦康嗣, 土木計画学研究・講演集, Vol. 43, CD-ROM, 2011.
210. 持続的なまちづくりを支える人々のネットワーク 岐阜岩村を事例として, 石田大貴, 出村嘉史,

高木朗義, 倉内文孝, 土木計画学研究・講演集, Vol. 43, CD-ROM, 2011.

211. Modeling departure time adjustment behavior considering travel time variability using Adaptive Neuro-Fuzzy Inference System, Wahaballa Amr Mohamed, Kurauchi Fumitaka, Takagi Akiyoshi, Othman Ayman Mahmoud, Proceedings of Infrastructure Planning, Vol. 43, CD-ROM, 2011.
212. Assessment for Forestry Management Policies referring to Effect of CO2 Balance and Regional Economy, Takanori Inayama, Akiyoshi Takagi, and Koji Kitaura, Papers of the 22nd Pacific Conference of Regional Science Association International (RSAI), 3-6, July, Seoul, Korea, 2011.
213. Practice and Simulation of Awareness and Preparedness for Natural Disaster by Risk Communications in Gifu, CaSiFiCa, Akiyoshi Takagi, Second International Conference on Integrated Disaster Risk Management, IDRIM2011, 2011.
214. 住民ワークショップを活用した土砂災害ハザードマップの作成促進 - 岐阜県の試み, 高木朗義, 服部洋介, 大西勉, 池上進一, 鈴木金治, 第6回防災計画研究発表会 - 東日本大震災後の地域防災 -, 2011.
215. Awareness and Preparedness for Disaster Reduction by Risk Communications in Gifu, CaSiFiCa, Akiyoshi Takagi, The 5th International Conference on Crisis and Emergency Management 2011, 2011.
216. 水環境リーダーの国際シンポジウム@北京, Va Vuthy, 2011.
217. 地域協働型道路施設管理のあり方に関する研究, 大野沙知子, 高木郎義, 倉内文孝, 出村嘉史, 土木計画学研究・講演集, Vol.44, CD-ROM, 2011.
218. 岐阜県内を対象とした社会基盤施設のリスクマネジメント その1: 研究概要と経済損失評価, 岩田麻衣子, 高木朗義, 倉内文孝, 本城勇介, 土木計画学研究・講演集, Vol.44, CD-ROM, 2011.
219. 岐阜県内を対象とした社会基盤施設のリスクマネジメント その2: 道路斜面落石のリスクマネジメント, 森口周二, 本城勇介, 沢田和秀, 原隆史, 浅野憲雄, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.44, CD-ROM, 2011.
220. 岐阜県内を対象とした社会基盤施設のリスクマネジメント その3: 橋梁のリスクマネジメント, 大竹雄, 流石堯, 森本博昭, 村上茂之, 小林孝一, 本城勇介, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.44, CD-ROM, 2011.
221. 地球温暖化抑止のための森林起点型地域社会システムに対する評価手法の開発, 稲山孝典, 高木朗義, 平成23年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, pp.243-244, IV-004, CD-ROM, 2011.
222. 中山間地域における個人の自主的なCO₂ 排出抑制行動, 丸林紗代, 高木朗義, 平成23年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, pp.245-246, IV-005, CD-ROM, 2011.
223. 近代の墨俣における市街地の構造変容, 西慎太郎, 出村嘉史, 高木朗義, 倉内文孝, 平成23年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, pp.299-300, IV-032, CD-ROM, 2011.
224. 東日本大震災における津波避難行動に関する新聞記事データベースの構築, 大崎孝典, 大野沙知子, 高木朗義, 倉内文孝, 出村嘉史, 平成23年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, pp.347-348, IV-056, CD-ROM, 2011.
225. 車と徒歩での避難を想定した最適避難計画のモデル化, 三荒智也, 倉内文孝, 高木朗義, 出村嘉史, 平成23年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, pp.363-364, IV-064, CD-ROM, 2011.
226. プロサッカーチームがもたらす地域活性化の定量的便益評価, 大石希, 高木朗義, 横山大輔, 平成23年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, pp.371-372, IV-068, CD-ROM, 2011.
227. 地域協働型道路施設管理の仕組みづくりの方向性と課題, 大野沙知子, 高木朗義, 倉内文孝, 出村嘉史, 平成23年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, pp.445-446, VI-004, CD-ROM, 2011.
(平成23年度土木学会中部支部優秀研究発表賞)
228. Risk Management of Infrastructures on Road Network in Hida Area, Moriguchi, S., Honjo, Y., Takagi, A., Kurauchi, F., Otaka, Y. and Iwata, M., paper presented at the 8th International Symposium on Social Management Systems SSMS2012, 2nd-4th, May, 2012, Kaohsiung, Taiwan.
229. A Study on Governance for Cooperative Road Facilities Management, Ohno, S., Takagi, A., Kurauchi, F., and Demura, Y., paper presented at the 8th International Symposium on Social Management Systems SSMS2012, 2nd-4th, May, 2012, Kaohsiung, Taiwan.

230. Cooperative Management of Road Facilities: A Resident Partnership in Nakatsugawa City, Ohno, S., Takagi, A., Kurauchi, F., Demura, Y. and Yokoyama, D., paper presented at the Ninth Workshop on Social Capital and Development Trends in the Swedish and Japanese Countryside, 24th-25th, May, 2012, Österlen, Sweden.
231. Personal Network as the Foundation for the Sustainable Neighborhood Regeneration: Two Types of Communities in Iwamura, Ishida, H., Demura, Y., Takagi, A. and Kurauchi, F., paper presented at the Ninth Workshop on Social Capital and Development Trends in the Swedish and Japanese Countryside, 24th-25th, May, 2012, Österlen, Sweden.
232. 道路ネットワークの接続脆弱性評価に基づくリダンダンシーの経済価値の計量化手法の検討, 原田剛志, 倉内文孝, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.45, 2012.
233. Application of Optimal Bimodal Evacuation Planning Model to Practical-size Network: Hieke Case Study, Kurauchi, F., Mira, T. and Takagi, A., paper presented at the 3rd Conference of the International Society for Integrated Disaster Risk Management (IDRiM 2012), 7-9, September, 2012.
234. 道路施設の破損リスクに基づく最適補修戦略決定モデルの構築, 杉浦聡志, 高木朗義, 倉内文孝, 土木計画学研究・講演集, Vol.46, 2012.
235. 進化ゲーム理論を用いた中山間地域における自主的なCO2排出抑制行動分析, 丸林紗代, 高木朗義, 土木計画学研究・講演集, Vol.46, 2012.

最近の主な講演等

1. 岐阜大学地域システム計画研究室のまちづくり支援活動, 日本都市計画学会中部支部講演会, 2010.4.10.
2. 建設業へのエール 地域を守るのはあなたしかいない!, 岐阜社会基盤研究所 第7回研究発表会 基調講演, 2010.2.
3. 住民協働で進めるまちづくりと防災を考える「シンポジウム」中山間地の防災を考える IN TOKAI」基調講演・コーディネーター(全国治水砂防協会他), 2010.2.
4. 上田先生が目指した社会資本アセットマネジメント, パネルディスカッション: 地域連携・協働による社会資本アセットマネジメントの実現に向けて, 文部科学省科学技術振興調整費地域再生人材創出拠点の形成プログラム「岐阜大学社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニット」上田孝行先生メモリアルシンポジウム『地域の道をみんなで守る～暮らしの安全と地域再生への挑戦～』, 岐阜ふれあい会館, 2010.4.23.
5. 社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)について, 岐阜県測量設計業協会技術講習会, 岐阜産業会館, 2010.7.30.
6. 学校における防災体制～東海地震は必ず起こる～, 平成22年度同塵会総会, ルブラ王山, 2010.8.8.
7. パネルディスカッション: 孤立集落の自助・共助・公助に向けた産官学民の役割と連携, 日本自然災害学会オープンフォーラム, じゅうろくプラザ 2F ホール, 2010.9.15.
8. 低炭素社会の実現に向けて～市民協働型地域づくり～, 東海都市連携協議会, 岐阜市生涯学習拠点施設ハートフルスクエアG, 2010.10.22.
9. 地域協働型のインフラ管理, 建設技術フェア2010 in 中部, 名古屋市東文化小劇場, 2010.11.4.
10. 地域連携シンポジウムII, ネットワーク大学コンソーシアム岐阜岐阜駅サテライト教室, 2010.11.19.
11. 社会資本アセットマネジメント, 東海・北陸地区国立大学法人等技術系中堅職員研修, 岐阜大学, 2011.2.5.
12. 広域連携に向けた岐阜の役割, 東海4県1市シンポジウム, 静岡県地震防災センター, 2011.5.13.
13. 災害のための備えと心構え, 川原町まちづくり会総会講演, 十八楼, 2011.5.18.
14. 7.15豪雨災害の教訓, 災害図上訓練(DIG)風水害スキルアップ研修, 岐阜県庁, 2011.5.26, 岐阜県東濃西部総合庁舎, 2011.6.9, 岐阜県可茂総合庁舎, 2011.6.23.
15. 社会資本のアセットマネジメント, 道路の資産評価とファシリティマネジメントセミナー, じゅうろくプラザ, 2011.7.22.
16. 知っていますか? 土砂災害への備え(7.15豪雨災害を踏まえて), 第3回関市民防災講演会, 関市武芸川生涯学習センター, 2011.7.29.

17. ワークショップ実施の際の留意点，洪水及び土砂災害ハザードマップ作成のためのワークショップ実施研修会，岐阜県岐阜総合庁舎，2011.8.3，多治見市産業文化センター，2011.8.5，岐阜県古川総合庁舎，2011.8.8．
18. 社会資本アセットマネジメント技術研究センター - 社会基盤メンテナンスエキスパート(ME) - ，岐阜大学地域交流協会平成23年度秋の特別講演会，岐阜大学講堂，2011.11.4．
19. 道路インフラの現状と岐阜県・岐阜大学の取り組み，中部産業・地域活性化センター第7回「シンポジウム・中部圏学」，名古屋商工会議所，2011.12.5．
20. 自分の身は自分で守り，自分達の地域は自分達で守る～『世界一受けない授業』を通して伝えたかったこと～，岐阜大学出前講座“The学(ざがく)” in 飛騨高山，高山市役所，2011.1.27．
21. 自分の身は自分で守り，自分達の地域は自分達で守る，平成23年度斜面判定士講習会，岐阜県岐阜総合庁舎大会議室，2012.2.21．
22. 自分の身は自分で守り，自分達の地域は自分達で守る，中津川市災害に強いまちづくり市民会議，中津川文化会館，2012.3.16．

主な研究活動歴

- 昭和62年4月～平成5年3月 下水道事業の経済評価と整備目標設定に関する研究
- ・ 大都市における雨水整備目標の設定に関する検討
 - ・ 産業連関分析を用いた下水道事業の経済効果評価
 - ・ ヘドニック法(地価関数法)を用いた下水道事業の経済効果評価
- 平成4年4月～平成8年3月 環境防災投資の経済評価の開発とその応用に関する研究
- ・ 土地利用変化を考慮した治水事業の経済評価
 - ・ 防災投資の経済評価指標の開発
 - ・ 地球温暖化に伴う高潮被害とその対策便益の計測手法開発
 - ・ 消費者余剰分析に基づく水辺環境整備の経済評価と需要予測
- 平成8年4月～平成11年10月 河川事業の費用便益分析と計画立案手法に関する研究
- ・ 21世紀の都市河川における治水安全度目標と将来構想に関する検討
 - ・ 公共用水域における水環境保全対策の費用効果分析
 - ・ 洪水による精神的被害の計測
- 平成11年11月～平成13年7月 環境防災対策の経済評価
- ・ 便益帰着分析を用いた交通および河川に関する環境改善計画の経済評価
 - ・ 表明選好法を用いた環境保全および防災事業の経済評価
 - ・ 社会資本整備の経済評価手法に関する基礎的検討
- 平成13年8月～平成15年5月 空間変化や曖昧さを考慮した社会資本整備の経済評価
- ・ 応用都市経済モデルを用いた交通および河川に関する社会本整備の経済評価
 - ・ 時空間変化を考慮した環境防災対策の経済評価(土地総研，京大防災研の共同研究関連)
 - ・ 心理的効果や曖昧さを考慮した交通および環境計画の経済評価(岐阜県，土木学会の助成研究関連)
- 平成15年6月～平成19年3月 経済分析に基づく環境防災計画立案手法の開発
- ・ 総合的災害リスクマネジメント方策の立案手法に関する研究
 - ・ 応用一般均衡モデルを用いた環境保全策の経済評価とそれに基づく計画立案手法の開発((独)産業科学研究所，岐阜市との共同研究関連)
 - ・ 効率性と公平性を考慮した防災計画立案手法に関する研究
- 平成19年4月～現在 非市場財の評価を考慮した環境防災および社会資本マネジメントシステムの開発
- ・ 自助・共助・公助に基づく地域防災力向上に関する研究
 - ・ 道路網のアセットマネジメントに関する研究
 - ・ 森林管理システムの経済評価

研究代表者として獲得した競争的資金(科学研究費など)

1. 平成14年度土地関係研究者育成支援事業（財団法人土地総合研究所）『費用負担問題を考慮した市街地再生促進の最適施策とその効果に関する研究』（平成14年6月～平成15年6月）
2. 平成14年度河川整備基金助成事業（財団法人河川環境管理財団）『災害リスクマネジメントに基づく新たな総合治水対策の提案』（平成14年6月～平成15年6月）
3. 平成14年度萌芽の共同研究（京都大学防災研究所）『社会資本整備の投資タイミング』（平成14年4月～平成15年2月）
4. 平成15年度日本学術振興会特定国派遣研究者『大規模都市災害に対する総合リスクマネジメントに関する研究』（平成15年6月～平成16年5月）
5. 平成17年度科学研究費補助金（基盤研究(C)(一般)）『災害リスクの認知と自主防災行動を考慮した災害リスクマネジメントに関する研究』（平成17年4月～平成19年3月）
6. 平成18年度研究集会（京都大学防災研究所）『防災計画研究発表会 - 地域防災力を考える』（平成18年4月～平成19年3月）
7. 平成19年度研究集会（京都大学防災研究所）『防災計画研究発表会 - 様々な視点から防災計画論を考える - 』（平成19年4月～平成20年3月）
8. 平成19年度一般共同研究（京都大学防災研究所）『防災対策の埋没効果の計量化モデルと可視化のためのイマシミュレーション技法の開発と適用』（平成19年4月～平成21年3月）
9. 平成19年度「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」『
10. 平成19年度科学研究費補助金（基盤研究(C)(一般)）『災害リスクを含む様々な費用と便益の統合評価に基づく道路網アセットマネジメント』（平成19年10月～平成21年3月）
11. 平成21年度科学研究費補助金（基盤研究(B)(一般)）『社会的費用を考慮した社会資本アセットマネジメントに基づく地域リスクガバナンス』（平成21年4月～平成24年3月）
12. 平成23年度科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究）『低炭素社会の実現に向けたクチコミによるCO₂排出抑制行動促進の可能性』（平成23年4月～平成25年3月）
13. 岐阜大学産官学融合本部 平成21, 22, 23年度「岐阜大学技術交流研究会」『岐阜大学地域システム計画研究会』

分担者として獲得した競争的資金(科学研究費など)

1. 平成18年度科学研究費補助金（基盤研究(B)(一般)）『成熟社会における社会資本整備の方向性と制度改革』（平成18年4月～平成21年3月）
2. 平成18年度科学研究費補助金（基盤研究(B)(一般)）『地球温暖化・気候変動下での流域環境変化に対する森林管理の有効性評価』（平成18年4月～平成22年3月）
3. 文部科学省科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」『岐阜大学社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニット』（平成20年7月～平成25年3月）
4. 文部科学省特別教育研究経費『リスクに基づくアセット総合マネジメントによる社会基盤の戦略的整備意思決定に関する研究』（平成21年4月～平成24年3月）
5. 経済産業省平成21年度「体系的な社会人基礎力育成・評価システム開発・実証事業」『全学的な社会人基礎力育成をめざす教育システムの開発』（平成21年6月～平成22年3月）
6. 文部科学省科学技術振興調整費「戦略的環境リーダー育成拠点形成事業」『岐阜大学流域水環境リーダー育成プログラム』（平成21年7月～平成26年3月）
7. 平成22年度科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究）『環境保全・CO₂削減・経済性に着目した森林起地点型地域づくりデザイン指標の提案』（平成22年4月～平成24年3月）
8. 平成23年度科学研究費補助金（基盤研究(B)(一般)）『脆弱性の概念によるロバスとな道路ネットワークデザイン手法の開発とその実用性検証』（平成23年4月～平成26年3月）
9. 平成23年度一般共同研究（京都大学防災研究所）『地震ならびに洪水を想定した災害発生時の交通管理と避難計画に関する研究』（平成23年4月～平成25年3月）

代表者として獲得した競争的でない資金（受託研究・共同研究など）

1. 受託研究『地域間一般均衡モデルにもとづく環境対策の評価』，独立行政法人産業科学研究所（平成15年11月～平成16年3月）
2. 共同研究『産官学連携建設技術者養成に関する調査研究』，岐阜社会基盤研究所（平成18年10月～平成19年3月）
3. 受託研究『道路網アセットマネジメントの方法論検討業務』，岐阜県県土整備部（平成21年8月～平成22年3月）
4. 共同研究『岐阜 I R I 研究会』（平成21年9月～平成22年3月）
5. 受託事業『社会人企業人材創出・インターンシップ事業』，特定非営利活動法人 エティック（平成22年4月～平成23年3月，平成23年4月～平成24年3月）
6. 受託事業『関市地域防災計画』，関市危機管理課（平成22年8月～平成24年3月）
7. 受託事業『下呂市環境基本計画策定等相談助言業務』，下呂市（平成23年2月～平成24年3月）
8. 受託事業『都市計画マスタープラン調査等関連業務』，大垣市都市計画課（平成23年4月～平成24年3月）

学会活動歴

- 平成11年4月 岐阜大学工学部非常勤講師（～平成11年9月）
- 平成11年4月 土木学会土木計画学研究委員会災害リスク研究小委員会委員（～平成12年10月）
- 平成12年11月 土木学会土木計画学研究委員会災害リスクマネジメント研究小委員会リサーチグループ『防災投資の経済評価』主査（～平成15年11月）
- 平成13年4月 土木学会環境システム委員会委員（～平成15年3月）
- 平成13年11月 土木学会土木計画学研究委員会・土木計画学研究編集小委員会幹事（～平成15年5月）
- 平成16年4月 応用地域学会・運営委員会委員（～平成20年3月）
- 平成17年6月 土木学会誌編集委員会委員（～平成19年5月）
- 平成17年6月 土木学会土木計画学研究委員会防災計画研究小委員会幹事長（～平成20年6月）
- 平成17年6月 土木学会土木計画学研究委員会リスクマネジメント研究小委員会委員（～平成20年6月）
- 平成19年2月 土木学会技術推進機構技術者資格委員会 1 級，2 級技術者資格小委員会分野別小委員会委員（～平成21年1月）
- 平成20年11月 土木学会土木計画学研究委員会地域防災システム研究小委員会幹事長（～平成23年11月）
- 平成20年11月 土木学会土木計画学研究委員会社会・経済リスクの下での長期的な社会基盤政策の理論研究小委員会（～平成23年11月）

社会活動歴

- 平成12年4月 岐阜工業高等専門学校非常勤講師（～平成20年9月）
- 平成12年4月 同志社大学大学院総合政策科学研究科非常勤講師（～現在）
- 平成13年1月 名古屋産業科学研究所非常勤研究員（～平成?年3月）
- 平成13年3月 多治見市平和町・池田町・前畑町治水対策調整会議アドバイザー（～平成13年8月）
- 平成13年7月 岐阜市洪水ハザードマップ作成検討委員会幹事会幹事（～平成14年8月）
- 平成13年8月 各務原市都市計画マスタープラン策定委員会委員（～平成14年10月）
- 平成14年4月 中京大学経済学部付属経済研究所研究員（～平成21年3月）
- 平成14年7月 榛原町公共下水道建設委員会委員（～平成15年3月）
- 平成14年7月 県立岐阜女子商業高校と各務原東高校の統合に関する懇談会委員（～平成14年11月）
- 平成15年2月 岐阜社会基盤研究所研究員（～現在）
- 平成15年3月 受託研究『西濃圏域道路ネットワークの成果に関する調査』を岐阜県より受託（～平成15年3月）
- 平成16年7月 共同研究『長良川流域における環境保全策の検討に関する研究 - 長良川流域ニューユートピア計画』を岐阜市より受託（～平成18年3月）

- 平成16年7月 岐阜県総合交通体系指針調査検討委員会副委員長（～平成17年3月）
- 平成17年6月 各務原市都市計画審議会委員（～現在）
- 平成17年6月 中日本高速道路株式会社（平成17年9月まで日本道路公団）・保全事業におけるリスクマネジメント検討ワーキング座長（～平成18年3月）
- 平成17年9月 （株）野村総合研究所・「高速道路の保全事業におけるリスクマネジメントの構築検討支援業務」アドバイザー（～平成18年3月）
- 平成17年9月 河川環境整備に関わるCVMを適用した経済評価検討会（（財）リバーフロント整備センター）委員（～平成19年3月）
- 平成18年9月 岐阜県都市政策懇談会委員（～平成19年3月）
- 平成18年11月 岐阜県公害審査会委員（～現在）
- 平成18年11月 無電柱化の効果計測手法に関する研究会（（財）日本総合研究所）委員（～平成19年3月）
- 平成19年4月 岐阜県事業評価監視委員会委員（～平成20年3月）
- 平成19年4月 長良川流域環境ネットワーク協議会顧問（～現在）
- 平成19年7月 海津市まちづくり委員会 戦略的交通システム検討分科会委員（～平成20年7月）
- 平成19年9月 国土交通省国土交通大学講師
- 平成19年9月 「京都創生に係る都市政策の経済評価のあり方」研究会副委員長（～平成20年3月）
- 平成19年11月 中津川市都市計画審議会副委員長（～平成23年5月）
- 平成20年6月 犬山東町線バイパス住民参画型みちづくり委員会委員長（～平成20年12月）
- 平成20年4月 岐阜県事業評価検討委員会委員（～平成24年3月）
- 平成20年4月 岐阜県新規公共事業計画委員会幹事会委員（～平成24年3月）
- 平成20年7月 岐阜県除雪研究会委員長（～平成24年3月）
- 平成20年8月 長良川中流域における沿川整備のあり方勉強会委員（～平成22年3月）
- 平成20年8月 サマースクール2008「建設マネジメントを考える」講師（京都大学）
- 平成20年8月 海津市地域公共交通会議委員（～平成22年3月）
- 平成20年9月 郡上地域建設業地域ビジネスモデル研究会委員（～平成21年3月）
- 平成20年11月 大垣市都市景観アドバイザー（～平成21年3月）
- 平成20年12月 高潮被害低減方策検討委員会委員（（財）沿岸域技術センター）（～平成21年3月）
- 平成21年1月 地域交通コーディネーター（国土交通省中部運輸局）（～現在）
- 平成21年2月 飛島村都市計画マスタープラン策定委員会委員長（～平成22年3月）
- 平成21年2月 局地的豪雨対策検討会議委員（岐阜県）（～平成22年3月）
- 平成21年4月 ネットワーク大学コンソーシアム岐阜 共同授業『地域活性化システム論 まちづくりリーダー養成講座』コーディネーター（～現在）
- 平成21年5月 岐阜市建築審査会委員（～現在）
- 平成21年5月 大垣市景観アドバイザー（～現在）
- 平成21年6月 大垣市景観遺産審議会委員（～現在）
- 平成21年7月 岐阜市地球温暖化対策実行計画協議会市民部会委員（～平成22年3月）
- 平成21年 月 リニア中央新幹線地域づくり研究会委員，産業振興部会長（～平成23年3月）
- 平成21年 月 伊勢湾高潮災害低減方策検討委員会（（財）沿岸技術研究センター）（～平成22年3月）
- 平成21年5月 長良川川原町・鵜飼屋かわまちづくり懇談会委員（～平成22年3月）
- 平成21年4月 国土交通省中部地方整備局総合評価審査委員会岐阜県地域部会（～現在）
- 平成21年8月 サマースクール2009「建設マネジメントを考える」講師（京都大学）
- 平成21年9月 関市市民防災講座（～平成22年3月）
- 平成21年11月 文部科学省科学技術振興調整費「観光ナガサキを支える道守養成ユニット」非常勤講師（～現在）
- 平成21年12月 「次世代産業人材育成事業」講師（岐阜県研究開発財団）
- 平成22年3月 平成21年度関市・岐阜大学連携事業「市民防災講座」関市「市民防災シンポジウム」コーディネーター

- 平成22年3月 羽島市立中央公民館講座 講師「防災事始め - 自分の身は自分で守れ! - 」
- 平成22年4月 岐阜社会基盤研究所長 (~平成23年3月)
- 平成22年6月 岐阜市都市計画審議会委員 (~現在)
- 平成22年6月 大垣市建築審査会委員 (~現在)
- 平成22年 月 岐阜県社会資本メンテナンスプラン検討委員会副委員長, 岐阜県社会資本メンテナンスプラン検討部会長 (~現在)
- 平成23年2月 清流の国ぎふづくり県民連携会議会長 (~現在)
- 平成23年 月 岐阜市地球温暖化対策実行計画協議会委員
- 平成23年 月 下呂市環境審議会委員長 (~現在)
- 平成23年9月 リニア中央新幹線活用戦略研究会委員, 産業振興部会長 (~現在)
- 平成23年10月 砂防事業の評価手法に関する研究会 (国土交通省砂防部) (~平成24年3月)
- 平成23年 月 愛知県沿岸部における津波・高潮対策検討会委員 (~現在)
- 平成23年 月 岐阜県災害時要援護者避難支援検討委員会委員長
- 平成23年11月 岐阜県都市計画審議会会長代理 (~現在)
- 平成23年11月 岐阜県環境影響評価専門部会委員 (~現在)
- 平成23年 月 多治見市浸水対策協議会委員 (~現在)
- 平成23年 月 地理空間情報産学官中部連携協議会委員 (国土地理院中部測量部) (~現在)
- 平成23年 月 岐阜県地域公共交通協議会委員 (~現在)
- 平成23年 月 岐阜県事業評価監視委員会 - 県施工ダム検証に伴う作業部会委員 (~平成24年3月)
- 平成24年 月 愛知県地震被害予測調査 (災害対応WG) 委員 (~現在)
- 平成23年3月 「地域振興チャレンジ事業」審査会委員長 (岐阜県総合企画部観光交流推進局地域振興課)
- 平成23年3月 「移住・定住モデルエリア構築支援事業」委託業務審査会委員長 (岐阜県総合企画部観光交流推進局地域振興課)
- 平成23年3月 「フィルムコミッション普及促進」委託業務審査会委員 (岐阜県地域振興課)
- 平成23年3月 「清流の国ぎふづくり普及啓発」委託業務審査会委員長 (清流の国ぎふづくり推進課)
- 平成23年3月 「カーボンオフセット普及促進人材育成」委託業務審査会委員長 (地球温暖化防止推進センター)
- 平成23年 月 「岐阜県リニア調査業務」審査委員会委員長 (岐阜県都市建築部都市政策課)
- 平成23年 月 地域若者チャレンジ大賞・東海地区予選 審査委員

新聞報道

- 平成21年3月31日 中日新聞：岐阜県・岐阜大学人事交流『新年度 連携テーマは環境 県と岐大協定推進会議 共同授業開講へ』
- 平成21年4月8日 読売・毎日・岐阜・中日・建通新聞：浅岡朝泰氏 岐阜大学大学院博士後期課程入学
- 平成21年4月16日 岐阜新聞：地域活性化システム論 - まちづくりリーダー養成講座『まちづくりへ意欲 岐阜大・県のリーダー養成講座開講 受講者、活性化策学ぶ』
- 平成21年6月9日 中日新聞：地域活性化システム論 - まちづくりリーダー養成講座『「ゼロから日本一に」大分トリニータ運営会社の社長 岐大授業で語る』
- 平成21年6月23日 中日新聞：コメント『長良川 昔の風景再生 岐阜市 玉石転がる河原へ』
- 平成21年8月13日 岐阜新聞：地域システム計画研究室夏ゼミ合宿『岐阜大生、小坂町でゼミ合宿 まちづくりを考察』
- 平成21年11月28日 FC岐阜HP：FC岐阜エコプロジェクト第5回植樹イベントレポート
- 平成22年2月4日 岐阜新聞：岐阜社会基盤研究所第7回研究発表会『「社会基盤研究所」発表会 高木 岐阜大教授が講演『知恵を絞り地域の災害対応』』
- 平成22年2月9日 建通新聞：岐阜社会基盤研究所第7回研究発表会『4つのテーマで社会基盤研が研究発表会』

- 平成22年3月1日 中日新聞：中山間地の防災を考えるIN TOKAI 『奥飛騨の防災議論 高山で研究者らシンポ』
- 平成22年4月24日 中日新聞：シンポジウム「地域の道をみんなで守る」 『道路の維持テーマ 岐阜大がシンポ』
- 平成22年4月28日 建通新聞：「上田先生しのぶシンポに316人 - 岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究C」
- 平成22年5月18日 建通新聞「人物テレビ」：『岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター長に就任した高木朗義さん MEが全国で活躍できるように』
- 平成22年6月29日 岐阜新聞：地域活性化システム論 - まちづくりリーダー養成講座 『溝畑観光庁長官、岐阜大で講演：岐阜の水は世界的資源「付加価値が大切」学生ら百人受講 地方の観光戦略説く』
- 平成22年6月4日 建通新聞：フィールド実習の宝庫「岐阜のMEには訳がある」
- 平成22年6月18日 建通新聞：認定試験へ備える - 岐大のME 養成ユニット
- 平成22年6月18日 10年度後期受講者21日から受け付け - 岐大のME 養成ユニット
- 平成22年7月1日 中部経済新聞：交流人口増やし企業誘致 - リニア中央新幹線地域づくり研 たたき台提案
- 平成22年7月1日 岐阜新聞：リニア計画の課題探る - 多治見で地域づくり研究会
- 平成22年7月12日 建通新聞：全建賞を受賞 - 岐大と県 ME, MS 制度構築
- 平成22年7月23日 中日新聞：7.15岐阜豪雨 あの夜何が起きたのか 上 - 100年の洪水 命のむ 可児家の周り突然、川に
- 平成22年7月29日 岐阜新聞：【フォーカスぎふ】危険察知、家を脱出 - 裏山わき水真っ赤 「土砂崩れの前兆」 県内豪雨
- 平成22年8月 中日新聞（中濃版）：関市地域防災計画
- 平成22年8月4日 建通新聞：新たに18人を認定 - 岐大のME 養成講座10年度前期認定試験
- 平成22年8月 中京テレビ：7.15豪雨災害
- 平成22年8月26日 建通新聞：18人が認定目指す 20日間でカリキュラムこなす - 岐大と県のME 養成10年度後期スタート
- 平成22年9月1日 建通新聞：10日、ME 講座を公開 - 岐阜大学 7日まで参加受け付け
- 平成22年9月1日 建通新聞：まじめなコンクリートが守る 暮らしの安全と地域再生の挑戦 地方自治体による維持管理の在り方を考える - 岐大社会資本アセットマネジメント技術研究C 10月7日にシンポ
- 平成22年9月14日 建通新聞：関心高く、新潟からも参加 - ME 養成講座を一般公開
- 平成22年10月4日 建通新聞：岐大と岐阜国道 - あす社会基本研究協力で協定調印式
- 平成22年10月6日 岐阜新聞：岐阜大と岐阜国道事務所 - 道路整備で研究協定 維持・管理に成果反映へ
- 平成22年10月6日 建通新聞：人材育成目指し協定締結 - 岐阜大学CIAMと岐阜国道
- 平成22年10月15日 中日新聞：大学の技術を道路へ - 岐阜大と岐阜国道事務所 連携協定を結ぶ
- 平成22年10月15日 建通新聞：ME などに期待 - 岐大社会資本技術研究Cがコンクリ維持管理でシンポ
- 平成22年11月8日 中日新聞：紅葉眺めながら舌鼓 - 飛騨で「種蔵新そばまつり」（指導学生）。
- 平成22年11月18日 建通新聞：14人に認定証 - 岐阜大学の10年度後期ME。
- 平成22年12月1日 建通新聞：岐大AM技研CのME 17人 - 災害対策車操作を訓練。
- 平成22年12月6日 建通新聞：リスク評価し優先順 - 県の社会資本メンテプラン委 道路補修で素案議論。
- 平成22年12月10日 建通新聞：稲田さんら14人 - 岐大AM技研C 10年度後期ME 認定。
- 平成23年1月1日 建通新聞：【新春インタビュー】求められるインフラのまち医者 担い手は地域の建設業 - 岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター長 高木朗義教授に聞く。
- 平成23年1月7日 日刊建設協業新聞：【2011年名古屋支社新年企画】地域協働型インフラ管理の時代 高度な知識と技術で維持管理に対応。
- 平成23年2月9日 建通新聞：第8回研究発表会に230人参加 岐阜社会基盤研。

- 平成23年2月9日 建通新聞：ME活動を報告 岐大社会資本AM技研C
- 平成23年2月18日 日本経済新聞(夕刊)：道・橋の痛み 市民が点検。
- 平成23年2月15日 岐阜新聞：県が県民参加へ公募 - 『清流の国ぎふ』ロゴ制定。
- 平成23年3月18日 建通新聞：産・官・学連携の新たなスキーム「ME」がインフラを保全する。
- 平成23年3月29日 建通新聞：人材育成などで連携 あす岐大と中部技術が協定。
- 平成23年5月24日 岐阜新聞：土砂災害ハザードマップ 住民が作成へ。
- 平成23年5月27日 中日新聞：県庁指導者育成の研修会『風水害にも図上訓練』。
- 平成23年6月17日 建通新聞：全日程終了し試験へ』岐大の前期ME養成講座。
- 平成23年8月5日 建通新聞：岐大社会資本アセットM『22人に認定証授与』。
- 平成23年8月11日 岐阜新聞：神岡の路地など景観調査 岐阜大研究グループ地元住民と交流も。
- 平成23年8月23日 建通新聞：土木の研究最前線『身近なハザードマップと地域防災力向上を目指して』。
- 平成23年8月26日 建通新聞：岐大など『後期ME養成講座始まる』20日間で80コマの講義を。
- 平成23年11月7日 建通新聞：『12月9日にシンポ』岐大アセットM技術研。
- 平成23年11月22日 建通新聞：『新たに21人がMEに』11年度後期認定者。
- 平成23年11月27日 中日新聞：『大地震に学び備えを』初日は市民参加シンポ 岐阜で土木計画学研究発表会。
- 平成23年12月14日 建通新聞：『地盤の災害を考える』でシンポ開く』岐大社会資本アセットM技術研。
- 平成24年1月31日 建通新聞：『20人が災害対策も学ぶ』中部技術でMEフォローアップ研修。
- 平成24年2月21日 建通新聞：『23日に研究発表会』岐阜社会基盤研究所など。
- 平成24年2月29日 建通新聞：『MEが成果報告』岐阜社会基盤研など、『法人化を再検討へ』MEの会が臨時総会
- 平成24年3月16日 岐阜新聞：『木曽川下流河川事務所と岐阜大CIAM 調査や研究で連携』協定締結 技術者も育成。
- 平成24年3月21日 建通新聞：『岐大CIAMと木曽川下流が協定』河川管理維持などで。
- 平成24年4月26日 朝日新聞：『社会とつながる岐阜大学』県内産業発展のため、社会で働く技術者により高度な教育を実施。
- 平成24年5月13日 中日新聞：名古屋でシンポ『3連動地震に備えた地域の防災戦略議論』東海4県と名大など主催
- 平成24年5月13日 読売新聞：『地域ぐるみの防災を考える』4県3市・国立大がシンポ。
- 平成24年5月21日 建通新聞：岐大など『受講者24人でスタート』平成24年度前期ME養成講座。
- 平成24年6月22日 岐阜新聞：『災害時の避難ルート探る』自治体の職員ら 恵那市で図上訓練。
- 平成24年6月30日 岐阜新聞：『土木計画学コンペ 岐阜大が最優秀 「猪鹿ジャーキー」活動評価』
- 平成24年7月1日 中日新聞：防災事始め『「使えるマップ」作成に効果』災害図上訓練(DIG)。
- 平成24年7月19日 中日新聞：『岐阜大学生ら優秀賞に』土木学会公共政策コンペで。
- 平成24年8月10日 建設通信新聞：『緊急・重要性を増す社会インフラの維持管理』施設老齢化に「予防保全」で対応。
- 平成24年10月9日 岐阜新聞：インターン学生、企業で商品開発や企画『岐阜大プログラム熱視線』地域づくり大賞で奨励賞
- 平成24年10月17日 中日新聞：『最先端に驚き』岐阜大 市民が構内見学会
- 平成24年10月18日 岐阜新聞：『岐阜大の学生生活体験』学生企画イベント 一般の18人、学内見学
- 平成24年10月18日 日刊建設工業新聞：『産官学の総力でインフラを守れ』社会基盤メンテナンスエキスパート 行政と地域建設業 双方で育成。
- 平成25年1月10日 建通新聞：『社会基本メンテナンスプラン 新年度から本格運用』岐阜県第6回検討委員会開く
- 平成25年1月29日 岐阜新聞：『異業種交流で地域に力』恵那市企業経営者ら情報交換
- 平成25年2月1日 朝日新聞：『中小企業の新卒採用 大学生から辛口エール』経済団体フォーラム
- 平成25年2月3日 朝日新聞：『道路寸断 孤立の恐れ』飛騨・中濃中心に516集落 けが人・物資の搬送に支障・経済にも影響

平成25年2月4日 中日新聞：『東海圏の減災 共同研究』4県の6大学スクラム
 平成25年2月5日 静岡新聞：『減災へ東海6大学連携』静大など来月研究組織設立 成果共有や人材育成
 平成25年2月8日 朝日新聞：『全生徒で備え 災害図上訓練』危険箇所や広場，地図に色塗り 中津川第一中
 平成25年2月8日 読売新聞：『避難路など確認 中学生図上訓練』中津川で防災講演も
 平成25年2月10日 日経新聞：『南海トラフ対策で連携』名大など6大学
 平成25年2月13日 建通新聞：岐阜大学AM技術研究C『MEの会が活動報告』社会基盤研究所10周年式典で
 平成25年3月4日 中日新聞：『災害に県境ない』東海の6大学が調印
 平成25年3月4日 岐阜新聞：『減災研究へ連携組織』岐阜大など東海の6大学が設立
 平成25年3月4日 朝日新聞：『南海トラフ地震備え連携』と雨季あの国立6大学が新組織
 平成25年3月2日 毎日新聞：『防災研究 東海の6大学連携』
 平成25年3月4日 読売新聞：『防災 東海6国立大連携』人材育成や情報共有
 平成25年3月4日 日経新聞：『南海トラフ 6国立大連携』防・減災で東海4県
 平成25年3月4日 静岡新聞：『東海圏 防災力向上へ連携』静大など6大学研究組織設立 産・官・民と協力
 平成25年3月8日 中日新聞：『自由に意見出し集約』飛騨市の研究会 道路構想に市民も参加
 平成25年3月14日 岐阜新聞：『学生，抱負や意見交換』インターンシップ研修会
 平成25年3月28日 建通新聞：岐阜大と国交省岐阜県内7事務所『技術者育成などで協定締結』

テレビ・ラジオ出演・報道

平成20年1月3,10,17,24,31日 FMわっち：岐阜の未来『ぎふのまちづくり』（5週連続）
 平成22年1月5日 NHK岐阜「ほっとイブニングぎふ」：リニア中央新幹線地域づくり研究会 産業振興部会座長コメント
 平成22年7月1日 NHK岐阜「ほっとイブニングぎふ」：リニア中央新幹線地域づくり研究会部会
 平成22年10月15日 NHK岐阜「ほっとイブニングぎふ」：CIAMシンポジウム
 平成23年6月23日 NHK岐阜「ほっとイブニングぎふ」：災害図上訓練(DIG)風水害スキルアップ研修.
 平成23年6月22日 CBCニュース「イッポウ」：7.15豪雨災害から一年～ワークショップによる土砂災害ハザードマップ作成.
 平成23年11月5日 日本テレビ系列「世界一受けたい授業」：あっ！アレがないを科学で解決！いざという時の テクニック.
 平成24年3月29日 NHK総合「ほっとイブニングぎふ」：関市地域防災計画
 平成24年4月18日 NHK総合「ほっとイブニングぎふ」：中小企業の事業継続計画(BCP)
 平成24年6月5日 メ～テレ「UP!」：シリーズ暮らしの防災「減災教室」
 平成24年8月21日 メ～テレ「UP!」：シリーズ暮らしの防災「防災キャンプ」
 平成24年9月20日 中京テレビ「キャッチ!」：身近なものを代用して災害を乗り切ろう
 平成24年9月29日 NHK Eテレ「めざせ!会社の星」：防災SP前編 サバイバリーマンの心得
 平成24年12月20日 NHK総合「ほっとイブニングぎふ」：リニア活用戦略研究会産業振興部会

主な業務経歴

- 1) 大都市における雨水整備目標の設定に関する検討(1988～1990)
- 2) 産業連関分析を用いた下水道事業の経済効果評価(1991)
- 3) ヘドニック法(地価関数法)を用いた下水道事業の経済効果評価(1993)
- 4) 消費者余剰分析に基づく環境用水需要量予測(1993)
- 5) トラベル・コスト法を用いた水辺環境整備の経済効果評価(1994)
- 6) 土地需要における消費者余剰法による水辺環境整備の便益計測(1994)
- 7) 浸水対策(下水道事業)の費用便益分析(1995)

- 8) 21世紀の都市河川における治水安全度に関する検討(1996～1997)
- 9) 砂防施設の経済効果評価(1996～1997)
- 10) 公共用水域における水質保全の費用効果分析(1998～1999)
- 11) 洪水による精神的被害の計測(1997～1999)
- 12) 都市河川の将来構想検討『なごや川プラン21』（1997～1999）